

平成12年度

北海道国際センター業務概要

JICA LIBRARY



1188627 [2]

平成13年8月

国際協力事業団 (JICA)

北海道国際センター (札幌・帯広)

JICA

000
36
HIC

北海セ

JR

01-001

LIBRARY

目 次

I. センター概況	1
II. 広報事業	3
III. 技術研修員受入事業	16
IV. 青年招へい事業	44
V. 日系研修員受入事業	46
VI. 専門家派遣事業	47
VII. 地方自治体等連携事業	49
VIII. 青年海外協力隊事業	52
IX. 日系社会支援事業	60



1188627 [2]

I. センター概況

1. 沿革

国際協力事業団組織規程等の一部改正により平成7年10月1日付けで当事業団北海道支部（札幌市）が廃止され、札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、稚内市などの所在する地域を所管する北海道国際センター（札幌）と帯広市、釧路市、北見市、根室市などの所在する地域を所管する北海道国際センター（帯広）の2センターが、北海道における国際協力事業の拡充強化を目的に設置されました。

2. 特色

北海道国際センター（札幌）は、国際協力事業団がすすめる開発途上国への援助事業の北海道の拠点として、北海道国際センター（帯広）とともに、平成8年4月にオープンしました。センターの活動は、開発途上国からの研修員の受け入れをはじめ、開発途上国の青年招へい、専門家・青年海外協力隊・シニア海外ボランティア等の派遣、日系人を通じた技術協力、民間緊急援助等幅広い分野にわたっています。また、地方の国際化の拠点として、参加型国際協力事業を促進するため、地域住民にこれらの事業を紹介し、国際協力に対する理解を深めていただくとともに開発教育支援を行い、またパネル展・講演会等のさまざまな広報活動も同時に実施しています。

一方、北海道国際センター（帯広）は道東地域における国際協力の拠点として、「帯広の森」の一角に設立されました。また、当センターは隣接する敷地に帯広市により設置された「森の交流館・十勝」と連携して、地域の人々と研修員が相互理解と友好親善を深める国際交流ゾーンを形成しています。

3. 所管地域

北海道国際センター（札幌）

「石狩」 「渡島」 「桧山」 「後志」 「空知」 「留萌」 「宗谷」
「胆振」 「日高」 の各支庁及び「上川支庁の北部」

北海道国際センター（帯広）

「網走」 「十勝」 「釧路」 「根室」 の各支庁及び「上川支庁の南部」

4. 業務内容

- (1) 広報（開発教育支援を含む）事業
- (2) 技術研修員受入事業
- (3) 青年招へい事業
- (4) 日系研修員受入事業
- (5) 専門家派遣事業（OB会について記載）
- (6) 地方自治体連携事業
- (7) 青年海外協力隊事業
- (8) 日系社会支援事業

なお、以下の業務については、社団法人 北方圏センターに委託し、実施しています。

* 建物・施設の管理業務

* 一部の研修コースの研修実施業務

* 研修コースのブリーフィング、オリエンテーション、日本語研修等の研修付帯業務

* 研修員の福利厚生業務（健康管理業務を除く）

5. 人員構成

(札幌)

所長他職員12、国内協力員 2、協力隊カウンセラー 1、派遣要員 5

計20名

(帯広)

所長他職員 7、国内協力員 1、派遣要員 4

計12名

6. 施 設

(札幌)

(1) 建物規模

鉄筋コンクリート 5階・地下1階

敷地面積8,265m²、建築面積2,895m²、延床面積7,983m²

(2) 宿泊可能人員 100名

シングルルーム94室、ツインルーム 3室

(3) 研修施設

セミナールーム、オリエンテーションルーム、ブリーフィングルーム、パソコンルーム、講師室、研修監理員室、図書資料室

(4) その他

食堂、ラウンジ、エントランスホール、オーディオルーム、和室、会議室、健康相談室、広報展示コーナー

(帯広)

(1) 建物規模

鉄筋コンクリート 3階・地下1階

敷地面積5,790m²、建築面積2,132m²、延床面積4,401m²

(2) 宿泊可能人員 50名

シングルルーム46室、ツインルーム 2室

(3) 研修施設

セミナールーム、オリエンテーションルーム、ブリーフィングルーム、パソコンルーム、講師室、研修監理員室、スタディールーム、図書資料室

(4) その他

食堂、ラウンジ、エントランスホール、オーディオルーム、プレイルーム、和室、会議室、健康相談室、広報展示コーナー

Ⅱ. 広 報 事 業

1. 国際協力キャンペーン

(札幌)

開催月日	行 事 名	開催場所	協力団体等	講師等	参加人数
8月5日～ 8月6日	エコアクション さっぽろ2000	アクセス サッポロ	札幌市主催	JICA紹介ブース設営 坪池 明日香	15,000名
10月28日 ～ 10月29日	北海道国際協力 フェスタ2000	サッポロ ファクトリー	主催： 北海道国際協力フェ スタ2000実行委員会 北海道 札幌市 JICA北海道国際セン ター（札幌） 北方圏センター 札幌国際プラザ 道内NGO団体	「ODA民間モニター」 佐々木 達春 「国際協力セミナー」 高島 肇久 「高校教師海外研修」 高橋 康 「世界音楽ライブ」 嵯峨 治彦 他	5,000名

(帯広)

開催月日	行 事 名	開催場所	協力団体等	講師等	参加人数
10月28日	オホーツク国際 フェスタ	北見市 (ビッツアーク ホテル)	北見国際技術協力推 進会議	JICAアジア1部松岡 和久部長 法政大学教授鈴木佑司 教授	150名
11月4日 ～ 11月5日	北海道国際協力 フェスタ2000	帯広市 (森の交流館・十 勝ほか)	北海道、帯広市、北 方圏センター、十勝 インターナショナル 協会、道内NGO	国際協力セミナー（N GO活動推進センター 常務理事・事務局長伊 藤道雄氏による講演、 JICAより小規模開 発パートナー事業の紹 介）、エスニックフー ドフェスティバル、協 力隊パネル展などの開 催	70名

2. 国際協力市民講座

(札幌)

開催月日	講座名	開催場所	協力団体等	講師等	参加人数
8月25日	国際協力市民セミナー	(社)北方圏センター 会議室（道庁別館）	帰国専門家連絡会	外務省企画官 夏目高男氏 帰国専門家 松本勝氏	130人
9月10日	親と子の国際協力教室	JICA北海道国際センター（札幌）	(社)北方圏センター (財)日本国際協力センター	青年海外協力隊OB4名 在館研修員10名	14家族 30名
12月15日	帰国専門家連絡会との市民セミナー及び研修員との交流会	JICA北海道国際センター（札幌）	帰国専門家連絡会 (社)北方圏センター	研修員50名 帰国専門家連絡会	120人
3月19日	国際協力市民セミナー	JICA北海道国際センター（札幌）	帰国専門家関係者40名他	帰国専門家(モンゴル)及び帰国専門家夫人(サモア)	30人

(帯広)

開催月日	行事名	開催場所	協力団体等	講師等	参加人数
11月23日	帯広市国際理解講座(協力隊説明会との同時開催)	帯広市 (とちちプラザ)	協力隊OB会道東支部	研修員 Mr.Elikira Ndesilio KIMBITA (タンザニア)	30名
12月9日	市民学園国際理解講座「メッセージto釧路part6」	釧路市 (釧路市生涯学習センター)	釧路地方国際理解研究会、釧路教育委員会	「上級原虫病研究」コース研修員10名参加	170名
1月19日	外国をもっと良く知る会	芽室町 (芽室町青少年勤労センター)	芽室町国際交流協会	研修員3名 Mr. Benear Apollo OBANDA (ケニア) Mr. Agnes Sepotokana MOTHOB(ボツワナ) Mr. ASHONG LAMPTEY Grace Adzetso(ガーナ)	35名
12月16日	私たち地・球・人	北見市 (オホーツク木のプラザ)	コン・カリーニョ、協力隊OB会オホーツク支部	清水直美氏（青年海外協力隊、専門家、シニア海外ボランティア経験者） 「女性指導者のための栄養改善」コース研修員8名	40名

2月17日	国際交流ボランティア講座	根室市 (根室市総合文化会館)	根室市	JICA北海道国際センター (帯広) 渡部義太郎所長 平成12年度ODA民間モニター 矢萩久美子氏	30名
3月3日	北見市国際交流ボランティア研修会	北見市 (北見市民会館)	北見市	研修員3名 Mr.Mohammad Rezaul HAQUE(バングラデシュ) Mr.Kamlesh Shashi PRAKASH(フィジー) Ms.Felix Samuel Nil Ayi HAMMOND(ガーナ)	30名

3. 開発教育支援

(1)高校生エッセイコンテスト2000

- ・募集テーマ：開発途上国や国際協力、国際理解について考えていること。例えば「開発途上国の人々とのふれあい」「自分の参加した開発途上国に対するボランティア活動」「国際社会における日本の役割」などについて題は自由。
- ・募集期間：平成12年1月17日から5月10日まで
- ・全国の応募総数：14,004点
- ・北海道の応募総数：356点
- ・審査員特別賞：
 - 北海道清水高等学校2年 中村 藍子 「国際交流を考える」
- ・入 選：
 - 北海道苫小牧東高等学校3年 大崎 聡子 「私探しから始める国際協力」
 - 北海道国際情報高等学校2年 かせ野真代
「もっと食欲に、もっと自分に厳しく」
 - 北海道国際情報高等学校3年 立田 智美 「物への愛情」
 - 北海道国際情報高等学校3年 山田 翔子 「ベラルーシとの出逢い」
- ・北海道国際センター(札幌)所長賞
 - 北海道立函館中部高等学校2年 佐々木友紀 「そもそも国際協力とは」
- ・北海道国際センター(帯広)所長賞
 - 北海道立釧路江南高等学校3年 桜岡 彩 「私とボランティアと国際協力」
- ・JICE奨励賞
 - 札幌市立開成高等学校2年 箕浦 安菜 「私の望む21世紀」
- ・学校賞
 - 北海道立当別高等学校
 - 北海道立旭川農業高等学校
 - 北海道立札幌国際情報高等学校
 - 北海道立釧路南高等学校

(2)中学生エッセイコンテスト2000

- ・募集テーマ：開発途上国や国際協力、国際理解について考えていること。例えば「いま、私たちができること」「青年海外協力隊になったら」「宇宙船地球号の一員として」「ボランティア活動からみえたもの」など、題は自由。
- ・募集期間：平成12年6月1日から9月20日まで
- ・全国の応募総数：15,812点
- ・北海道の応募総数：444点
- ・入 選：
 - 浜頓別町立下頓別中学校3年 加藤 歩 「ひとりの人間として」
 - 釧路市立武佐中学校2年 斎藤 優佳
「私達の世代に国境はない～初めてのホストファミリー」
- ・北海道国際センター（札幌）所長賞
 - 札幌市立山鼻中学校1年 和田 裕美 「輝ける島の現実」
 - 札幌市立西岡北中学校1年 渡部 沙織 「私の小さな一歩」
- ・北海道国際センター（帯広）所長賞
 - 北見市立南中学校3年 阿部 絃子 「助け合うこと」
- ・学校賞
 - 旭川市立啓北中学校
 - 札幌市立山鼻中学校
 - 新得町立新得中学校
 - 浦河町立荻伏中学校
- ・JOCA会長賞
 - 札幌市立山鼻中学校3年 佐藤 雄司 「ボランティアを通しての友達」

(3)セミナー開催

帯広

① 開催年月日

平成13年1月10日

② 開催場所

森の交流館・十勝

③ テーマ

国際理解教育セミナー

④ 講師等氏名

- 1) 基調講演 大津 和子氏（北海道教育大学教授）
- 2) 情報提供 城水 健（JICA北海道国際センター（帯広）職員）
笹木 卓三氏（十勝国際理解教育研究会研究部長）

(4)高校教師海外研修

- ・研修期間：平成12年7月26日から8月5日まで（11日間）
- ・派遣国：メキシコ
- ・参加者：北海道戸井高等学校 高橋 康 教諭（英語）
北海道北見北斗高等学校 武田 久 教諭（英語）

(5)高校生国際協力実体験プログラム

- ・開催期間：平成12年8月3日から5日まで
- ・参加校：北海道札幌国際情報高等学校
北海道旭川農業高等学校
北海道清水高等学校
北海道蘭越高等学校
青森県金木高等学校

4. 一般広報

(1)ODA、JICA事業、国際ボランティア等に関する一般からの問合せ対応

(2)パンフレット等各種資料の配布、パネル、ビデオ貸出し等を実施

主なパネル貸出し

(札幌)

月 日	内 容	展 示 場 所	主催団体等
5月4日～5月31日	青年海外協力隊パネル展	国立大雪青年の家	青年海外協力隊 北海道OB会道北支部
5月15日～5月19日	青年海外協力隊パネル展	後志支庁	後志支庁政策観光課
7月24日～7月26日	学校祭での協力隊パネル展示	当別高等学校	同左
10月26日～10月27日	青年海外協力隊パネル展	北海道庁	北海道庁知事室国際課
10月28日～10月29日	国際協力フェスタ協力隊 パネル展	サッポロファクトリー	青年海外協力隊 北海道OB会
11月6日～11月10日	青年海外協力隊パネル展	留萌支庁	留萌支庁

(帯広)

月 日	内 容	実 施 場 所	主 催
4月10日～ 4月16日	協力隊春募集説明会にかかるパネル展	北見市民会館	J I C A
4月19日～ 4月23日	協力隊春募集説明会にかかるパネル展	中標津町民ホール	J I C A
5月8日～ 5月12日	協力隊春募集にかかるパネル展	釧路支庁舎内	北海道釧路支庁
7月14日～ 7月18日	学園祭でのパネル展示	帯広農業高等学校	同左
7月19日～ 7月25日	学園祭でのパネル展示	中札内高等学校	同左
10月13日～ 10月15日	学園祭での協力隊パネル展	東京農業大学オホーツクキャンパス	協力隊OB会オホーツク支部
11月4日～ 11月5日	国際協力フェスタでの協力隊パネル展	森の交流館・十勝	協力隊OB会道東支部
12月9日	市民学園「メッセージ to くしろ」でのパネル展示	まなぼつと幣舞	釧路市生涯学習センター
12月16日	国際協力ワークショップ「私たち地・球・人」での協力隊パネル展	オホーツク木のプラザ	協力隊OB会オホーツク支部
2月17日	国際交流ボランティア養成講座でのパネル展示	根室市総合文化会館	根室市

- (3) 関連事業に関するプレス・リリースを適宜実施。特に、マスコミ海外派遣として、2000年10月24日から11月7日まで北海道新聞社編集委員日浅尚子氏をジンバブエに派遣。

(4)サーモン・キャンペーン

学校その他教育機関等の依頼に応じて、JICA事業についての講師等を派遣
(札幌)

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
4月4日	ロータリークラブ講演 「イスラム社会と国際協力」	三越ライラック	札幌西ロータリーク ラブ	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅	70名
5月20日	大学講演	北星学園大学	同左	JICA北海道国際センター (札幌) 業務課 石亀 敬治	25名
5月23日	大学委員会への講演	北海学園大学	同左	JICA北海道国際センター (札幌) 業務課 石亀 敬治	25名
6月9日	山鼻中学校ワークショップ	JICA北海道国際 センター (札幌)	山鼻中学校	JICA北海道国際センター (札幌) 業務課 松浦善人 石亀敬治 海外青年協力隊OB 大塚豊嗣 渡辺美香 吉田智恵子 旗手由香	70名
6月30日	北海道高国協総会 「海外における危機管理 ・安全管理について」	JICA北海道 国際センター (札幌)	北海道高等学校国際 教育研究協議会	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅	45名
7月12日	小学校授業 (6年生)	札幌市立幌南小学 校	同左	青年海外協力隊OG 長家 博美	32名
7月14日	中学校授業 (2年生)	札幌市立信濃中学 校	同左	青年海外協力隊OB 大塚 豊嗣	240名
8月8日	全国高等学校国際教育研 究協議会北海道大会	ホテルライフオー ト札幌	高国協	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅	160名
8月27日	札幌青少年センター、青少 年活動リーダーへの講演	札幌市生涯学習セ ンター「ちえりあ」	札幌青少年センター	青年海外協力隊OG 吉永 めぐみ	12名
8月29日	札幌市立篠路小学校PTA 来訪	JICA北海道国際セ ンター (札幌)	札幌市	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅 青年海外協力隊OG 長家 博美	50名
9月6日	浜頓別町立下頓別中学校 修学旅行 施設見学、ワークショップ	JICA北海道国際セ ンター (札幌)	同校	青年海外協力隊OB 大塚 豊嗣 JICA北海道国際センター (札幌) 総務課長代理 濱川 格	7名

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
9月7日	北海道海外派遣事業参加者事前研修 「国際協力の現場から」	真駒内ハイツ北海道青少年会館	北海道	JICA北海道国際センター(札幌) 所長 小森 毅	12名
9月18日	石狩地区教育研究会 英語部会教師来訪	JICA北海道国際センター(札幌)	北広島市立広葉中学校	JICA北海道国際センター(札幌) 総務課 瀬戸 茂之 青年海外協力隊OB 宗宮 元	20名
9月25日	中学校授業	北広島市立大曲中学校	同左	青年海外協力隊OB 大塚 豊嗣	75名
9月25日	札幌市立南郷小学校来訪 施設見学	JICA北海道国際センター(札幌)	同左	北方圏センター 櫛引 重一	11名
9月29日～ 30日	国際協力に関する大学合同 合宿での講演	JICA北海道国際センター(札幌)	北海道教育大学 NRC(旧北方圏センター)	JICA北海道国際センター(札幌) 業務課 石亀 敬治 武市 二郎 青年海外協力隊OB 立石 喜裕	36名
10月4日	国際協力連絡協議会	JICA北海道国際センター(札幌)	同左	JICA北海道国際センター(札幌) 所長 小森 毅 総務課長 千坂 平通 業務課長 室澤 智史 総務課長代理 濱川 格 業務課長代理 菊池智徳 他職員	31名
10月12日	北海道留寿都高等学校来訪 施設見学	JICA北海道国際センター(札幌)	同校	JICA北海道国際センター(札幌) 所長 小森 毅 瀬戸 茂之	19名
10月12日	中学校授業	当別町立当別中学校	同左	青年海外協力隊OB 瀬戸 茂之	7名
10月12日	中学校講演 「国際協力や国際交流について」	札幌市立手稲中学校	同左	JICA北海道国際センター(札幌) 所長 小森 毅	10名
10月25日	中学校講演 「発展途上国の貧困とその現状」	札幌市立藤野中学校	同左	JICA北海道国際センター(札幌) 総務課長 千坂 平通	270名

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
10月25日	国際理解教育研修講座 「国際協力と国際理解教育」	JICA北海道国際センター（札幌）	北海道教育研究所	JICA北海道国際センター（札幌）所長 小森 毅 長澤有晃JICA専門家OB 袴田信郎JICA専門家OB 中野 訓 JOCV OB 原田 祥二JOCV OB 杉山 正彦JOCV OB	35名
10月25日	小学校授業	旭川市立緑ヶ丘小学校	同左	青年海外協力隊OG 鷺見 美由紀	80名
10月31日	江別ユネスコ協会会員への講演	野幌公民館	江別ユネスコ協会	青年海外協力隊OB 宗宮 元	30名
10月31日	北広島高校来訪施設見学	JICA北海道国際センター（札幌）	同校	JICA北海道国際センター（札幌） 総務課長 千坂 平通 総務課長代理 濱川 格	80名
11月4日	ユネスコ大会参加者・指導者への講演	札幌スクール・オブ・ビジネス	北海道高等学校ユネスコ連絡協議会	青年海外協力隊OG 吉永 めぐみ	150名
11月14日	大学講演（観光科2年生）	札幌国際大学	同左	青年海外協力隊OB 宗宮 元	130名
11月15日	教職経験者研究協議会 「国際協力と日本の役割」	第2水産ビル	北海道教育委員会	JICA北海道国際センター（札幌）所長 小森 毅	50名
11月16日	札幌市立啓明中学校 「国際協力相談」	JICA北海道国際センター（札幌）	同左	JICA北海道国際センター（札幌）総務課 瀬戸 茂之	6名
11月16日	初任者研修 「地域研修」 「国際協力の現状と課題」	JICA北海道国際センター（札幌）	北海道教育委員会	JICA北海道国際センター（札幌）所長 小森 毅 総務課長代理 濱川 格	22名
11月17日	高校授業（国際科1年生）	札幌清修高等学校	同左	青年海外協力隊OB 宗宮 元	36名
11月18日	高校生・教員への講演 「今、なぜ国際協力を？」	瀬棚町立瀬棚商業高等学校	同左	JICA北海道国際センター（札幌）所長 小森 毅 総務課長代理 濱川 格	105名
11月19日	小学生・父母への講演	札幌市立青葉小学校	同左	青年海外協力隊OG 吉永 めぐみ	101名

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
11月25日	青年海外協力隊員と語る うユースフォーラム	札幌国際プラザ	北海道青年海外協力 隊を育てる会	青年海外協力隊OB 岡田 萌子 古澤 里千子 宮浦 由紀子 中谷 由美 高垣 美智子 奥矢 敏正	30名
12月6日	札幌市立啓明中学校訪問 学習	JICA北海道国際セ ンター（札幌）	同左	青年海外協力隊OG 吉田 智恵子	29名
12月12日	小学校授業（5年生）	函館市立湯の川小 学校	同左	青年海外協力隊OB 工藤 寿啓	95名
12月19日	小学校授業（6年生）	札幌市立西岡南小 学校	同左	青年海外協力隊OB 大塚 豊嗣	99名
12月20日	小学校授業（5・6年生）	ニセコ町立ニセコ 小学校	同左	青年海外協力隊OB 中野 訓	67名
1月11日～ 12日	国際教育理解リーダー研 修	JICA北海道国際セ ンター（札幌）	北海道立教育研究所	青年海外協力隊OB 宗宮 元 村上 浩司	12名
1月20日 ～21日	NGOとこんにちは！ NGO屋台村	札幌市生涯学習総 合センター（ちえ りあ）	(財)札幌国際プラザ JICA北海道国際セン ター（札幌）	JICA本部国内事業部 部長 今津 武 JICA北海道国際センター （札幌） 所長 小森 毅	860名
1月22日	地方自治体とのブロック 別連絡会議他職員	JICA北海道国際セ ンター（札幌）	同左	JICA北海道国際センター （札幌） 所長 小森 毅 他職員	32名
1月22日	小学校授業	江別市立上江別小 学校	同左	青年海外協力隊OG 秋元 直子	180名
2月3日	研修員地域交流	札幌市立川北小学 校	同左	各コース研修員	684名
2月16日	研修員地域交流	札幌市立青葉小学 校	同左	食品保健コース研修員	51名
2月17日	研修員地域交流	札幌市立しらかば 台小学校	同左	各コース研修員	37名
2月21日	中学生エッセイコンテス ト表彰式	浦河町立荻伏中学 校	同左	JICA北海道国際センター （札幌） 所長 小森 毅 瀬戸 茂之	100名
2月22日	就職説明会	北海道学園大学	同左	JICA北海道国際センター （札幌） 総務課長代理 濱川 格	40名
2月23日	研修員地域交流	札幌市立真駒内幼 稚園	同左	地方教育行政コース研 修員	180名

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
2月24日	地球市民国際理解講座 「身近でできる国際理解 国際協力そして国際交流」	追分町公民館	北方圏センター 追分町国際交流セン ター	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅	50名
2月26日	インターンシップ推進事 業 「卒業生による企業 等講演会」	北海道大学農学部	同左	JICA北海道国際センター (札幌) 業務課 武市 二郎 浅井 誠	30名
2月28日	就職説明会	北海道大学	同左	JICA北海道国際センター (札幌) 総務課長代理 濱川 格	150名
3月8日	中学生エッセイコンテス ト表彰式	浜頓別町立下頓別 中学校	JICA北海道国際セン ター (札幌)	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅 和田 裕司	20名
3月11日	中学生エッセイコンテス ト表彰式	JICA北海道国際セ ンター (札幌)	JICA北海道国際セン ター (札幌)	JICA北海道国際センター (札幌) 所長 小森 毅 総務課長 千坂 平通 和田 裕司	10名
3月12日	地方団体事務職員への講 演	北海道旭川土木現 業所	同左	青年海外協力隊OG 佐々木真弓	70名
3月24日	地球家族フォーラム	札幌国際プラザ	札幌圏ホームステイ 交流協会 札幌国際プラザ		60名

(帯広)

開催月日	内容	開催場所	主催団体等	派遣講師等	参加人数
6月7日、 6月14日、 6月21日	サーモンキャンペーン/ 帯広畜産大学 「異文化間コミュニケーション論」	帯広市 (帯広畜産大学)	帯広畜産大学	①JICA企画部地域第一課乾英二課長代理 ②JICA調達部契約第1課大山雅民研修第一課長 ③JICA北海道国際センター(帯広)城水健	210名
7月18日、 7月19日	サーモンキャンペーン/ (帯広畜産大学) 「国際農業開発協力論」	帯広市 (帯広畜産大学)	帯広畜産大学	①JICA北海道国際センター(帯広)西山甲子男業務課長 ②「畑作物の種苗生産」コースリーダー青木忠文 ③元ケニア派遣専門家小崎浩 ④協力隊池田美弥子OG(エチオピア) ⑤JICA国際協力専門員齋藤博 ⑥JICA北海道国際センター(帯広)中山泰徳 ⑦JICA農業開発協力部木村卓三郎	350名
8月2日	北海道老人大学での講演	釧路市 (釧路市総合福祉センター)	北海道老人大学釧路校	JICA北海道国際センター(帯広)渡部義太郎所長	60名
10月3日	サーモンキャンペーン/ 北海道立帯広高等技術専門学院での講演	帯広市 (北海道立帯広高等技術専門学院)	北海道立帯広高等技術専門学院	JICA北海道国際センター(帯広)国内協力員樽石敦子	100名
11月7日	サーモンキャンペーン/ 青年海外協力隊派遣地文化紹介	帯広市 (帯広畜産大学)	帯広畜産大学	協力隊青山政憲OB	20名
8月2日	十勝六峻会での講演	帯広市	十勝六峻会	JICA北海道国際センター(帯広)渡部義太郎所長	30名
11月28日	帯広土木現業所での講演	帯広市	帯広土木現業所	JICA北海道国際センター(帯広)渡部義太郎所長	80名
11月28日	北方アジア圏農業研究会での講演	札幌市	北方アジア圏農業研究会	JICA北海道国際センター(帯広)城水健	30名
12月11日	サーモンキャンペーン/ 帯広畜産大学での講義	帯広市 (帯広畜産大学)	帯広畜産大学	JICA北海道国際センター(帯広)西山甲子男	80名
12月15日	サーモンキャンペーン/ 上士幌高等学校での授業	上士幌町 (上士幌高等学校)	上士幌高等学校	JICA北海道国際センター(帯広)国内協力員樽石敦子	60名

(5)その他の広報活動

① 全国で「ODA民間モニター」を募集：

北海道全体では233名（男性128名、女性105名）の応募。

男性モニター 佐々木達春 女性モニター 矢萩 久美子

② 国際親善の集い

(札幌) 10月20日実施。350名参加。

(帯広) 11月2日実施。280名参加。

道、市、関係省庁および研修員受入先等を招待。研修員、JICA関係者との交流、親睦。連携を推進し、国際協力の実施基盤の拡充強化。

1-2. 集団型コース、個別研修員全体受入実績

国/コース名称	国名/受人数	アジア地域																	中東地域				中南米地域		エル・サルバドル				
		インド	インドネシア	ウズベキスタン	カザフスタン	キルギス	カンボディア	スリ・ランカ	タイ	ネパール	バングラデシュ	パキスタン	フィリピン	ブータン	マレーシア	ミャンマー	モンゴル	ラオス	ウイエトナム	中国	サモア	バプアニューギニア	フィジー	ミクロネシア	ブラジル	メキシコ	コロンビア	ペルー	
1 畑作物の種苗生産	7						2				1							1											
2 土壌診断環境保全	7							1				1							1										
3 地域流域環境	8	1			1		1	1					1																
4 加地帯における農業開発	5												2												1			1	
5 畑作機械開発手法	7											1																1	
6 畑作管理	10		2									2						1						1					
7 湿地環境及び生物多様性保全	9					1		1		1		1		1				1											
8 酪農振興・検査技術	7							1	1	1				1															
9 天然林経営と住民参加による地域林業	7					1		1																					
10 都市環境施設整備計画	8	1	1					1							1									1					
11 小学校における理科実験教育 (南西アジア諸国)	8						2				2	2			2														
12 農産物市場経済(東欧)	11																												
13 土壌原虫研究	10							2											1										
14 コロンビア土地区画整理事業	7																												
15 女性指導者のための食物栄養改善	8																								1	1			
16 農業分野における情報処理技術	8		1						1		1														1				
17 食肉及び食肉加工品の保蔵技術	5								1									1											
18 ザンビア農業普及	11																												
19 中国市場経済下生産者・協同組合対応	9																											9	
1 自然公園の管理・運営と利用 (エコツアー)	3		1						1						1														
2 朝陽市農業開発(地方枠)	2																		2										
3 ワインによる地方自治体の地域経済振興 (地方枠)	3																												
4 寒冷地における社会基盤整備の工学技術 (地方枠)	3			1	1	1																							
個別研修員(帯広A/B移管)	12		2															1	4		1								
合計	175	1	8	1	1	1	3	6	10	2	4	5	5	1	4	3	4	3	3	12								1	1

ラトヴィア	マケドニア	マルタ	ポランド	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	ブルガリア	ハンガリー	エストニア	アルヴァニア	ルワンダ	マラウイ	ボツワナ	ニジェール	タンザニア	セネガル	スワジランド	ザンビア	ケニア	ギニア	カメルーン	ガナ	エチオピア	ウガンダ	トルコ	シリア	エジプト	メキシコ	ボリビア	ペルー	ブラジル	パラグアイ	ドミニカ共和国	チリ	コロンビア	計				
										1													1											7				
														1				1																7				
																			1													1		8				
																																			5			
																	1	1						1											7			
																				1	1														10			
																								1											9			
																								1											7			
																										1									7			
																												1							8			
																																			8			
																																			11			
																																			10			
																																			7			
																																			8			
																																			8			
																																			5			
																																			11			
																																			9			
																																				3		
																																				2		
																																				3		
																																				3		
																																				12		
10	1	1	2	2	3	3	1		2	2	2		1	1	1	3	1	3	15	1	2	8	1	3	1	1		1	1	1	2	5	1	3	1	1	1	175

2-1. 集団/特設コース等研修員受入実績内訳 (札幌)

No	研修科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	入日	人月	関係省庁	研修機関	
1	(個別特設) 南ア地域開発行政セミナー (第7回)	12	Ms. Tania Cecilia VAN DYK	31		00.5.8	41	205	6.8	北海道開発庁	北海道開発局	
			Mr. Nicolaus Petrus CLAASSEN	36								
			Mr. Modisolele Ben MACOMO	33	南アフリカ							
			Ms. Adri MOLLER	35								
			Mr. Pinyana NCEBISI	29								
2	(一般特設) 都市型水質汚濁検査技術 (第5回)	5	Ms. Silvia Patricia HUMERIZ Berda	29	ポリヴェイア	00.5.15	63	315	10.5		札幌市衛生研究所	
			Ms. Maria Eliana VEIGA Fernandez	30	チリ							
			Mr. BAKAYOKO Adama	34	象牙海岸共和国							
			Ms. LEZAMA BAHENA Cristina	33	メキシコ							
			Ms. Furbahaz AKTURK	35	トルコ							
3	(集団) 触媒科学研究 (第14回)	8	Ms. GAO Yuxiong	42	中華人民共和国	00.5.22	186	1,302	43.4		北海道大学 触媒科学研究センター	
			Ms. Suher Ibrahim Hamed MOSTAFA	35	エジプト							
			Mr. Mohamed Mahmoud Moustafa SHOAI B	37	エジプト							
			Mr. Ashi Bhuia Prasad MISHRA	37	インド							
			Mr. Hamid SHAHBAZ	38	イラン							
			Ms. Margarita ORTIZ ROJAS	33	メキシコ							
			Mr. MIEGH Raq Bhandari	33	ネパール							
			Mr. Nikolay Bonissav TOUMBEV	28	ブルガリア	00.6.5	40	360	12.0			(財)北海道地域技術振興 センター
			Mr. Emil Dimitrov PANAYOTOV	33	ブルガリア							
			Mr. Dimcho Ivanov STANIEV	32	ブルガリア							
4	(個別特設) 東欧生産管理 (B) (第2回)	9	Mr. KUZIN Aleksandr	40	エストニア	00.6.12	90	540	18.0		札幌市水道局	
			Mr. PEKKMA Mati	50	エストニア							
			Mr. KIETIS Egils	44	ラトビア							
			Ms. Danuole SALDIUNIENE	37	リトアニア							
			Mr. Zvonko HRISTOV	29	マケドニア							
			Mr. Marjan MAJNOV	34	マケドニア							
			Mr. Freddy de Jesus VANDERPOOL GONZALEZ	24	ドミニカ共和国	00.6.12	90	540	18.0			
			Mr. Natil Ramzy TADKOS	40	エジプト							
			Mr. Soutchay BOUAPHAYVANH	37	ラオス							
			Mr. ROSSMAN Bin Kamarudin	38	マレーシア							
5	(個別特設) 中国学校運営・管理 (第5回)	5	Mr. Carlos Alfredo IHERNANDEZ Champacella	36	ペルー	00.6.19	28	140	4.7	文部省	北海道教育委員会	
			Mr. Alexander P. BULLICATIN	40	フィリピン							
			Mr. CHEN Guo Cai	35								
			Ms. CHEN Fei	26								
			Mr. HUO Yuan Bin	32								
6	(個別特設) ペルー地域開発計画指導者 セミナー (第5回)	15	Mr. MA Jie Lin	53	中華人民共和国	00.6.19	41	615	20.5	北海道開発庁	北海道開発局	
			Ms. Li Xiu Zhen	55								
			Mr. Antonio TAMARIZ	34								
			Mr. Darwin DEL AGUILA	47								
			Mr. Juan QUIJO	43								
			Mr. David VILCA	39								
			Ms. Martha BAUTISTA	44								
			Mr. Augusto MOSCOSO	42								
			Ms. Josselina RONCAGLIOLO	38								
			Mr. Jaime MATUTE	38								
			Mr. Jorge CHOQUE	48								
			Mr. Jose SILVA	40								
			Mr. Victor MARINA	41								
			Ms. Maria JIMENEZ	45								
			Mr. Segundo ARIAS	44								
	Ms. Veronica VASQUIZ	29										
	Mr. Williams MORI	39										

No	研修科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	人日	人月	関係省庁	研修機関
8	(一般特設) 農産参加による農業農村開発 (第5回)	10	Ms. Nelba Veronica GAETE	40	チリ	00.6.20 00.7.30	41	410	13.7	農林水産省	林業振興公団
			Mr. Nelson Bienvenido CRUZ SANTOS	46	ドミニカ共和国						
			Mr. Richard KARIM	42	インドネシア						
			Mr. Angkhan KEBOULAKHAM	40	ラオス						
			Ms. Daw San MYINT	40	ミャンマー						
			Mr. Bouacar MOUSSA Amadou	28	ニジェール						
			Mr. Guido Agustin Alberto LOPEZ CARDENAS	29	パラグアイ						
			Ms. Conchita G. CAISINA	46	フィリピン						
			Mr. Constant A. KONGOLO	43	ルワンダ						
			Ms. Malinee PITUCK	42	タイ						
9	(個別特設) 中央アジア農産物市場経済 (第8回)	13	Mr. GHAZARYAN Albert	30	アルメニア	00.7.5 00.7.29	25	325	10.8	農林水産省	北海道農政部
			Mr. TOREKHANOV Aibyn	37	カザフスタン						
			Mr. ZHAMBIEKOV, Serik Boranbayevich	29	カザフスタン						
			Mr. SHAKIBAYEV, Yertan Dautletovich	24	カザフスタン						
			Mr. AITYMBETOV Ernis Djamadylovich	35	キルギス						
			Mr. Tamchybek Karybekovich TULIEV	27	キルギス						
			Mr. OSKONBAEV Albek	34	キルギス						
			Mr. MIROJOV Abdulo Abrorovich	37	タジキスタン						
			Mr. YAKUBOV Bahodur Kurbonovich	33	タジキスタン						
			Mr. KUCHAROV Rustam Ulidashevich	33	タジキスタン						
Mr. KHALILOV Abdulrasit Muminovich	39	タジキスタン									
Mr. Farhad ZAKHIDOV	27	ウズベキスタン									
Mr. JURAKULOV Shohimardon	28	ウズベキスタン									
10	(一般特設) 道路技術者養成 (第5回)	5	Mr. YONN Sina	25	カンボディア	00.7.10 00.9.7	60	300	10.0		札幌市建設局
			Mr. Kassahun HAILEMARIAM Gobena	37	エチオピア						
			Mr. John Dickson WICHEP	33	ミクロネシア						
			Mr. CHULUUNBAATAR Badar	36	モンゴル						
			Mr. TRAN Viet Ha	25	ヴェトナム						
			Mr. FRANCISCO Amen	36	コスタ・リカ						
			Ms. Cynthia SANCHE	30	コスタ・リカ						
			Mr. Roberto RAMIREZ	37	コスタ・リカ						
			Mr. PEDRO BENJAMIN FUNES CERON	43	エル・サルヴァドル						
			Mr. PORTILLO Rivera Rafael Ernesto	32	エル・サルヴァドル						
Mr. SERGIO Enrique Veliz Rizzo	43	グアテマラ									
Mr. IVAN Arnoldo Mayen Moran	41	グアテマラ									
Mr. Marlon Yovany AGUILERA FLORES	32	ホンジュラス									
Mr. Jose Renan PEREZ MOREL	38	ホンジュラス									
Mr. Rodriguez Mandieta PERSY Jadebb	32	ニカラグア									
Mr. Jose Presentacion RODRIGUEZ Cerrato	38	ニカラグア									
Mr. Hernan Javier QUINTERO Monteno	33	パナマ									
12	(業団) 下水道維持管理 (第3回)	6	Mr. Bahrul ISLAM	36	バンラダシユ	00.8.7 00.10.9	64	384	12.8		札幌市下水道局
			Mr. COULIBALY Brahma	35	象牙海岸共和国						
			Ms. CONEFIANI	34	インドネシア						
			Mr. Mohammad Iqbal MENGAL	37	パキスタン						
			Mr. Jehad M. Y. ALJABOUR	32	パレスチナ						
			Mr. Plus PALMA	32	ハイチ						
13	(一般特設) 獣医技術 (第5回)	6	Mr. Mariano CHIALVA	26	アルゼンチン	00.8.21 00.11.26	98	588	19.6		北海道獣医師会
			Mr. Lorenzo de las Nieves JAVIER PASCUAL	47	ドミニカ共和国						
			Ms. Gillian Alicia TAYLOR	31	ジャマイカ						
			Mr. Peter Mung'athia M'ITHULA	30	ケニア						
			Mr. Abdulghaniy Y.M. ALFADHLI	31	サウジアラビア						
			Mr. Francis MUUNDANDO	34	ザンビア						

No	研修科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	人日	人月	関係省庁	研修機関
14	(国別特設) 中央アジア衛生行政 (第8回)	11	Ms. Martirosyan LIANA Donaksi	23	アルメニア	00.8.23	26	260	8.7	厚生省	北海道保健福祉部
			Mr. POTSKHVERIA Levon	38	グルジア						
			Ms. KAIZHANOVA Saule	25	カザフスタン						
			Ms. Larissa SYZDYKOVA	49	カザフスタン						
			Ms. KADYRALIEVA Ainura Askertovna	31	キルギス						
			Ms. SEITJALIEVA Chinara Toktosunovna	36	キルギス						
			Mr. SAIFULLOEV Faiziddin	34	タジキスタン						
			Ms. DIJUMAKULIEVA Ogulidian	42	トルクメニスタン						
			Mr. ISMAILOV Saydmurad	38	ウズベキスタン						
			Ms. KHAYRUTDINOVA Naira Khemzaevna	36	ウズベキスタン						
			Mr. HOY Syzhikun	43	カンボジア						
			Mr. OU Sophanna	30	カンボジア						
			Mr. Morakot VONGKAY	32	ラオス						
			Mr. Soulivanh NOVAHA	40	ラオス						
Ms. Anchalee KERDPIBULE	37	タイ									
Ms. Kalaya CHINATHORN	34	タイ									
Mr. To Yu Hai	46	ヴィエトナム									
Mr. HOANG Thanh Son	37	ヴィエトナム									
Mr. DINH Van Dien	39	ヴィエトナム									
Ms. Mary Luz PEÑA Uruena	25	コロンビア									
Mr. IWAN Riwani	30	インドネシア									
Mr. ABDU Ibrahim AYAYI	ニジエール										
Mr. Anuwat LUXSANAYOTIN	27	タイ									
Mr. Erick Alberto TAPIA Montecinos	38	ボリビア									
Ms. JU Hong	34	中華人民共和国									
Ms. Vanessa KOSMAS	25	パナマ									
Mr. Alex Imrique GAONA DIGALO	37	パラグアイ									
Mr. GARA Slatheidine Ben Mohamed Sadok	37	チュニジア									
Mr. Karsang NORBU	30	ブータン									
Mr. POVEDA Acosta Jaime Fabian	エクスドル										
Mr. Toomas KAPP	33	エストニア									
Ms. Byambagelijn SARAN	38	モンゴル									
Mr. Vishwa Mani JNAWALI	47	ネパール									
Mr. Fcvzi ISBILIR	45	トルコ									
Mr. SIFTYAWAN Warsono Adi	29	インドネシア									
Mr. Faisal A. S. DIRWEISHI	33	ジョルダン									
Ms. Carmen Guadalupe TAZZA Martin	23	ペルー									
Ms. Dvira C. CAMARAO	39	フィリピン									
Ms. Diana JAHJO	28	アルバニア									
Ms. Daniela Marinova DRUMEVA	28	ブルガリア									
Ms. Lena Nikolova DAVIDKOVA	28	ブルガリア									
Ms. Pavla CERVOVA	26	チェコ									
Ms. KALDOSI Zsuzsanna Agnes	25	ハンガリー									
Ms. VINCZE Csaba	29	ハンガリー									
Ms. BAUZIENE Renata	23	リトアニア									
Mr. CONSTANTINESCU Viorel	40	ルーマニア									
Mr. MEILESCU Cornel	37	ルーマニア									
Mr. Badita PETROAICA	40	ルーマニア									
15	(国別特設) インドシナ地域総合開発 計画管理セミナー (第4回)	10	Ms. Mary Luz PEÑA Uruena	25	コロンビア	00.8.28	48	432	14.4	北海道開発庁	北海道開発局
			Mr. ANUWAT LUXSANAYOTIN	27	タイ						
16	(一般特設) 石炭輸送・利用技術 (第5回)	5	Ms. Mary Luz PEÑA Uruena	25	コロンビア	00.9.4	364	1,456	48.5	通商産業省	独立行政法人産業技術総合 研究所北海道センター
			Mr. ANUWAT LUXSANAYOTIN	27	タイ						
17	(一般特設) 地域土木行政セミナー (第5回)	5	Mr. Erick Alberto TAPIA Montecinos	38	ボリビア	00.9.25	46	230	7.7		北海道建設部
			Ms. JU Hong	34	中華人民共和国						
18	(一般特設) 寒冷地水道技術者養成 (第6回)	6	Mr. Karsang NORBU	30	ブータン	00.10.2	63	378	12.6	厚生省	札幌市水道局
			Mr. POVEDA Acosta Jaime Fabian	エクスドル							
19	(一般特設) 地域環境保全技術 (第6回)	5	Mr. SIFTYAWAN Warsono Adi	29	インドネシア	00.10.2	79	316	10.5	環境庁	北海道環境科学研究所センター
			Mr. Faisal A. S. DIRWEISHI	33	ジョルダン						
20	(国別特設) 東欧環境行政 (第9回)	10	Ms. Dvira C. CAMARAO	39	フィリピン	00.10.16	35	350	11.7	環境庁	札幌市環境局環境計画部
			Ms. Diana JAHJO	28	アルバニア						

No	研修科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	人日	月	関係省庁	研修機関		
21	(個別特設) ITアト小学校理数科授業改善 (第3回)	5	Mr. Mohamed Saad Elibracem EL OKABI	46			45	225	7.5	文部省	北海道教育大学		
			Mr. Khaled Mohammed Skated AHMED	32									
			Mr. Khaled Gamal El Din A. El Hassan EL-LITY	38	エジプト								
			Mr. Youssri Taha Mohamed DENHWAR	43									
			Mr. Amany Mahmoud Ahmed EL-AWADY	34									
22	(集団) 地域開発計画管理セミナー (第4回)	7	Mr. ZIANG, De-Tong	43	中華人民共和国	00.10.23	55	605	20.2	北海道開発庁	北海道開発局		
			Mr. Gabriel MARQUIEZ	39	コロンビア								
			Ms. Patricia ACOSTA	32	コロンビア								
			Mr. Yared Alemayehu YUCHENEKU	46	エチオピア								
			Mr. Karim SHOKRI	36	イラン								
			Mr. Esmacil NASIR ESFAHANI	31	イラン								
			Mr. AHMAD Kamal Bin Wasis	28	マレーシア								
			Mr. Kwala Clements KWARA	31	ナミビア								
23	(集団) 新生児・乳児マスキリーニング (第11回)	8	Ms. Monica Elsa HOURCADE	41	アルゼンチン	00.10.30	56	448	14.9		札幌市衛生研究所		
			Ms. Safaa Abd El Fatouh Ahmed HUSSEIN	42	エジプト								
			Ms. GRAUDUMA Ineta	30	ラトビア								
			Ms. Maria Del Rosario TORRES SIPLUVEDA	40	メキシコ								
			Mr. Mere KIENDE	33	ルワンダ								
			Mr. Luis Romulo Lu de Lama	40	ペルー								
			Ms. Ceril Magbanua BORROMEO	41	フィリピン								
			Mr. Oscar Esteban ESPINOSA BENTANCOURT	25	ウルグアイ								
			Mr. Maximiliano PAOLINI	28	アルゼンチン								
			Mr. Raul Eduardo TERRAZAS Ceballos	30	チリ								
24	(集団) エレクトロニクス技術 (第2回)	10	Mr. MONCAYO Trivino Eloy Leonardo	28	エクアドル	00.11.6	101	1,010	33.7		(財)札幌エレクトロニクスセンター		
			Mr. Courtney Ricardo POWELL	28	ジャマイカ								
			Ms. Keren Kanuthu Gitundu KABERERE	30	ケニア								
			Mr. Mohd Ridhwan Bin MOHD BAKIR	24	マレーシア								
			Mr. Sarabia OCHOA FLAVIO	25	メキシコ								
			Mr. HARELIMANA Emmanuel	34	ルワンダ								
			Mr. Saad D. S. ALDOSARY	32	サウディ・アラビア								
			Ms. Wabalahanthrice Nilanthi Gothami PERERA	33	スリ・ランカ								
			Mr. Mikhail ZVEREV	33	カザフスタン								
			Mr. Imantiev KARYBEK Kapashevish	32	キルギス								
			Ms. MAMYTOVA Elnura	25	キルギス								
25	(個別特設) 中央アジア経営管理 (第4回)	11	Mr. KURBANOV Karimkhon Murodovich	39	タジキスタン	00.11.8	38	342	11.4		(財)北海道地域技術振興センター		
			Mr. SAFAROV Sumatullo Khikmatulloevich	30	タジキスタン								
			Mr. OGHILOV Dado Icramovich	37	タジキスタン								
			Mr. MERJEV Makhmud	38	ウズベキスタン								
			Mr. Rustam NASIROV	38	ウズベキスタン								
			Mr. MANSUROV Roostam	43	ウズベキスタン								
			Mr. Muhammad M H AMRO	38	パレスチナ								
			Mr. Muhammad Z M QASQAS	26									
			Mr. Abdalkarim SA NAJI	40									
			Mr. Safwan J M HALABI	33									
			26	(個別特設) パレスチナ地方自治体行政 (第2回)	8	Ms. Ingeborg Maria LANGOHR	29	ブラジル	01.1.21	32	128	4.3	
Ms. Davaajav ARMED	45	モンゴル											
Mr. BATBOLD Beesjav	30	モンゴル											
Ms. Raquel Haydée PEDROZO BARROS	31	パラグアイ											
Ms. Diana Ilka MORGADES PLACIDO	29	ウルグアイ											
27	(一般特設) エキノコックス症対策 (第2回)	5	Ms. Ingeborg Maria LANGOHR	29	ブラジル	01.1.8	63	315	10.5		北海道立獣生研究所		
			Ms. Raquel Haydée PEDROZO BARROS	31	パラグアイ								

No	研究科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	入日	関係省庁	研修機関		
28	(一般特設) 狂犬病などのウイルス性 人畜共通伝染病の診断法と予防法 (第5回)	6	Ms. Richard Deri SULOURE	34	ガーナ	01.1.18	70	190	文部科学省	北海道大学大学院獣医学研究科		
			Mr. Ibrahim AL-KHASSAWNEH	30	ヨルダン	01.3.18						
			Mr. HLA Hwy Nking	32	ニヤンマー							
			Mr. Madan Singh DHAMI	34	ネパール							
			Mr. Francis Guinea ALMIRANTE	36	フィリピン							
			Mr. MOHAMED Ijas	34	スリ・ランカ							
29	(個別特設) メキシコ地域産業育成・ 公的技術サービス (第5回)	7	Mr. Richmond Manesah URASA	38	タンザニア	01.1.15	35	280		北海道総務部 北海道経済部		
			Mr. Sosa Lopez . Miguel IERNAN	48	ホンデュラス	01.2.18						
			Mr. Pastor Teodoro NATADAMAS ORTIZ	37								
			Mr. GONZALEZ HERRERA Esteban Adrian	34								
			Mr. JIMENEZ MACEDA Librado	36								
			Mr. CHUC MUHOZ Marcelino	34	メキシコ							
			Mr. Guillermo Dante RAMIREZ RODRIGUEZ	35								
			Ms. Norma Oralia CARGIA SALAS	41								
			Mr. ZARATE FLORES hugo	46								
			Mr. MUYANCA Everlyn Musenva	35	ケニア	01.1.15	56	448			14.9	酪農学園大学
30	(一般特設) 農畜水産物の安全管理技術 (第1回)	5	Mr. MWENZE Peter Mutui	29	ケニア							
			Mr. ODUNDO William Richard Okeye	45	ケニア							
			Ms. Maria Isabel AMADO	45	モザンビーク							
			Mr. Mamadou NGOM	42	セネガル							
			Ms. Thankful Mygirl DIAMINI	47	スワジランド							
			Mr. Elisabetha Moses URIO	43	タンザニア							
			Mr. Chakare BIENHURA	35	ジンバブエ							
			Ms. Lephuishe Ada TLHONG	26	ボツワナ	01.3.11	56	504			16.8	札幌市保健福祉局
			Mr. ALLOTEY Samuel Akwei	43	ガーナ							
			Mr. MANYAMALLE Pepestu Andrew	26	レント							
			Mr. Frank Collin CHUMIA	44	マラウイ							
			Ms. OUANE DIALLO Mariane Mamadou	45	セネガル							
			Mr. Stephen Jolly KIBERTI	42	タンザニア							
			Mr. KYAKULAGA Cranimer Francis	28	ウガンダ							
Ms. Sylvia Mande NKHATA	32	ザンビア										
Mr. Lerato NARE	36	ジンバブエ										
32	(個別特設) 中央アジア地域開発セミナー (第5回)	11	Mr. MERSAGATOV Talgat	47	カザフスタン	01.1.17	39	390	国土交通省	北海道開発局		
			Mr. BAIMAGULOV Beisenbek	42	カザフスタン	01.2.24						
			Mr. RYSALIEV Abdusatar Amrakovich	39	キルギス							
			Ms. SHABDANBENKOVA Svetlana Nurseitov	36	キルギス							
			Mr. MIRZOYEV Abdumatin	31	タジキスタン							
			Ms. SARYYEVA Gulnara	29	トルクメニスタン							
			Mr. TAGANOV Babamyrat	32	トルクメニスタン							
			Mr. HADIMETOV Ahmatboy	41	ウズベキスタン							
			Mr. SULAYMANKULOV Jamshid	26	ウズベキスタン							
			Mr. ZOKIROV Saitforiz	34	ウズベキスタン							
			Mr. Nkora ANDJOUGA	44	カメルーン	01.1.22	36	360			12.0	札幌市教育研究所
33	(一般特設) 地方教育行政セミナー (第4回)	10	Ms. KALLOKJ Eltazabeth Itumbi Kombo	36	ケニア							
			Mr. Kenneth Chege KABETU	43	ケニア							
			Mr. Mewanders Handson Daitmon CHATSIIKA	34	マラウイ							
			Mr. DIAKITE Youssouf	40	マリ							
			Mr. Mdufuzi Elliot NKAMBULE	42	スワジランド							
			Ms. Cheka Zarao OMARY	43	タンザニア							
			Mr. Eilor JOSEPH	41	ウガンダ							
			Ms. Grace B. FUNDAFUNDA	36	ザンビア							
			Ms. Florence Chonya MFUJA	44	ザンビア							

No	研修科目	定員	氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	入日	入月	関係省庁	研修機関	
34	(国別特設) 中央アジア環境行政セミナー (第8回)	11	1) Mr. RASID Fataliev Amanulla	46	アゼルバイジャン	01.2.28	25	275	9.2	環境省	札幌市環境局環境計画部	
			Mr. CHINALIYEV Gaziz Korshabekovich	41	カザフスタン							
			Mr. MUSSIRALI Nurken Nurzhanuly	29	カザフスタン							
			Mr. KUANDYKOV Bolatbek Bayanovich	32	カザフスタン							
			Ms. ASELI Toktosunova	27	キルギス							
			Ms. CHOLPON Aibakieva	27	キルギス							
			Mr. ISOMUDDINOV Saidamin Akbarovich	31	タジキスタン							
			Mr. KARAYEV Tachmurad Jamaaturodovich	37	トルクメニスタン							
			Ms. FROLOVA Natalya	52	ウズベキスタン							
			Mr. MUSTAFIN Artur	33	ウズベキスタン							
			Mr. NIYOZOV Anvar	40	ウズベキスタン							

2-2. 集団/特設コース等研修員受入実績内訳 (帯広)

No.	研修コース名/種字	定員	研修員氏名	年齢	国籍	受入期間	受入日数	人日	人月	関係省庁	研修機関
1	畑作物の種苗生産	8	Mr. Abdul Rahman KALACH	29	シリア	2000.4.2 2000.7.16	105	840	28	農林水産省	(財)日本特産農作物種苗協会 農林水産省種苗管理センター十勝農場 北海道立十勝農業試験場
			Mr. SINNATHURAI Jameson Arasakesary	37	スリ・ランカ						
			Ms. Anjaja Javani WARUSAVITHARANA	36	スリ・ランカ						
			Mr. Muhammad IQBAL	36	パキスタン						
			Mr. POCCO Cardenas Aldo Angelo Martin	29	ペルー						
			Mr. Phineas Phairie PHEHO	32	ボツワナ						
			Mr. Nokharn QUNESAVANH	47	ラオス						
			Mr. HOANG Quoc Chinh	40	ヴィエトナム						
2	土壌診断環境保全	7	Mr. SAKHO Yaya	46	ギニア	2000.5.14 2000.8.19	97	679	22.63	国際協力事業団	(社)北方圏センター 帯広市役所 帯広畜産大学
			Mr. KONTE Mamadou Lamine	38	セネガル						
			Ms. Benjaporn CHAKRANON	38	タイ						
			Ms. AGPOON Eivira Dizon	39	フィリピン						
			Ms. Nilce ORTIZ	39	ブラジル						
			Mr. Ivan COSTA	29	マルタ						
			Mr. EUDI Wirawan	32	インドネシア						
			Ms. TCHOUMAMOU Hermine	33	カメルーン						
3	地域流域環境	8	Mr. THACH Sovanna	31	カンボジア	2000.5.21 2000.8.24	95	760	25.33	国際協力事業団	(社)北方圏センター 帯広市役所
			Ms. Martha Fabiola OTERO Acevedo	24	コロンビア						
			Mr. Thanomsak BOONPHAKDEE	31	タイ						
			Ms. Pamela Eugenia ZENTENO Rivera	33	チリ						
			Mr. Rama Nand Prasad YADAV	40	ネパール						
			Mr. NGOO Tow Yea	41	マレーシア						
			Mr. Ricardo Antonio MARROQUIN	37	エル・サルヴァドル						
			Mr. SERGIO Pfwie	40	パプア・ニューギニア						
4	畑地帯における農業開発	5	Mr. Mamerto Pronda MARTINEZ	40	フィリピン	2000.6.4 2000.10.1	105	735	24.5	国際協力事業団	(社)北方圏センター 北海道開発局帯広開発建設部
			Mr. VILLANUEVA Robert M.	41	フィリピン						
			Mr. STOSEVSKI Zoran	28	マケドニア						
			Mr. Roque Eduardo NUNEZ RAYNOLDI	42	アルゼンチン						
			Mr. Mohamed Ali Ahmed METWALLY	38	エジプト						
			Mr. Gideon Elijah CHWEYA	45	ケニア						
			Mr. Dapson Elliams MWANDIRA	40	ザンビア						
			Mr. Godwin Hezron Harnisi MWAMKINGA	41	タンザニア						
Mr. Rajabu Ngoma MTUNZE	43	タンザニア									
5	畑作機械開発手法	7	Ms. RODAVIA Gilda Yolanda G.	39	フィリピン	2000.6.18 2000.10.1	79	553	18.43	農林水産省	(社)海外林業コンサルタンツ協会 北海道森林管理局 北海道庁 帯広市役所
			Mr. LAO Sethaphal	33	カンボジア						
			Mr. Preecha ONGPRASERT	34	タイ						
			Mr. Ramadhani Juma MZIRAY	39	タンザニア						
			Mr. Williams Dario HERNANDEZ REGALADO	29	ドミニカ共和国						
			Mr. Hamidou KONA	33	ニジェール						
			Mr. Jorge Luis BRETADO VELAZQUEZ	39	メキシコ						
			Mr. RWIKILIZWA Aphanase	38	ルワンダ						
6	天然林経営と 住民参加による地域林業	7	Ms. Chilombo Christine YAMBAYAMBA	32	ザンビア	2000.8.20 2000.11.7	81	567	18.9	文部省	帯広畜産大学
			Mr. Elle George KHOUJI	34	シリア						
			Mr. Senevirathne WICKRAMAGE SARATH	31	スリ・ランカ						
			Ms. Doungkamol JAREARNKUL	28	タイ						
			Mr. THAPA Babu Ram	39	ネパール						
			Mr. Sherab TENZIN	27	ブータン						
			Ms. BANDAKOVA Svyka Haralambaeva	43	ブルガリア						
			Mr. LANDE BANDARAGE C.P.De Silva	40	スリ・ランカ						
7	稲農振興・検査技術	7	Ms. Zahida PARVEEN	33	パキスタン	2000.8.13 2000.11.2	97	776	25.87	国際協力事業団	(社)北方圏センター 帯広市教育委員会 北海道教育大学
			Ms. Farah Neaz SHEIKH	34	パキスタン						
			Ms. Mst FARIDA Yasmin	33	バングラデシュ						
			Ms. Parveen BANU	38	バングラデシュ						
			Ms. Daw MYINT Myint Thu	31	ミャンマー						
			Ms. MYINT Myint Sann	43	ミャンマー						
			Mr. Kudathelge Shirimal Kshanthideva PEIRIS	40	スリ・ランカ						
			8	小学校における理科授業 (南西アジア諸国)	8						
Ms. Mst FARIDA Yasmin	33	バングラデシュ									
Ms. Parveen BANU	38	バングラデシュ									
Ms. Daw MYINT Myint Thu	31	ミャンマー									
Ms. MYINT Myint Sann	43	ミャンマー									
Mr. Kudathelge Shirimal Kshanthideva PEIRIS	40	スリ・ランカ									
Ms. Zahida PARVEEN	33	パキスタン									
Ms. Farah Neaz SHEIKH	34	パキスタン									
Ms. Mst FARIDA Yasmin	33	バングラデシュ									

No.	研修コース名漢字 (地方中核都市)	定員	研修員氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	人日	人月	関係省庁 国際協力事業団	研修機関
9	都市環境施設整備計画 (地方中核都市)	8	Mr. Alok AGARWAL Mr. HANDIYANA Mr. NGUELE Simon Pierre Mr. Joseph Makadani ZULU Mr. SUDUWA DEWAGE Wijatne Mr. Sanju REDDY Mr. Rodrigo CALDERON Cusinayta Mr. Mohd. Zaini Bin MOHD YUSOF	36 25 43 31 43 28 29 49	インド インドネシア カメルーン ザンビア スリ・ランカ フィジー ペルー マレーシア	2000.3.27 2000.11.1	66	528	17.6		(社)北方圏センター 帯広市役所 北海道開発局帯広開発建設部
10	東北・農産物市場経済	11	Ms. Alma LINZA Ms. GYORFI Orsika Ms. ORSOLYA Kiss Eva Ms. Krasina Borissova GALOVA Ms. KROUMOVA-KARADJOVA Daniella Vladimira Ms. Sonia Nikolova MIKOVA Mr. Valentin Atanasov VARBANOV Mr. TADEL Eugeniusz Mr. SOBIERAJSKI Piotr Mr. URBANIAK Bartosz Mr. JASIC Mirdhat	31 23 27 33 33 42 39 39 29 29 45	ハンガリー ハンガリー ブルガリア ブルガリア ブルガリア ポーランド ポーランド ポーランド ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	2000.9.18 2000.11.4	47	517	17.23	国際協力事業団	(財)日本国際協力センター 帯広畜産大学
11	湿地環境及び生物多様性保全	9	Mr. TRAN The Lien Ms. LILLEMETS Sijte Mr. ITH Revath Ms. Sally Jepakorir KIBOS Mr. Weerasak ROONGRUANGWONGSE Mr. Md.Abdullah Abraham HOSSAIN Ms. GABALDON Lerna Concordia B. Mr. Rafael Antunes DIAS Mr. NOOR Aif Wira Bin Osman Mr. Andy Kwabena ALHASSAN Mr. Benear Apollo ORANDA Ms. Adriana REYES ORDONEZ Mr. William Harold WITOLA Mr. Poonsak NAVATHONG Mr. Yuedhakarn YANANTO Mr. Elkira Nideshillo KIMBITA Mr. Martin Rugalagu RUHETA Ms. LUCERO Revollo Susana Ivonne Ms. HUANG Xiaohong	34 37 32 34 36 33 37 31 29 34 36 24 32 31 38 42 41 29 37	ヴェトナム エストニア カンボディア ケニア タイ パングラデシュ フィリピン ブラジル マレーシア ガーナ ケニア コロンビア ザンビア タイ タイ タンザニア タンザニア 中国	2000.7.4 2000.8.7	34	306	10.2	環境庁	国際環境ウエットランドセンター 環境庁 国際環境政策部環境政策課
12	上総原虫病研究	10	Mr. Andy Kwabena ALHASSAN Mr. Benear Apollo ORANDA Ms. Adriana REYES ORDONEZ Mr. William Harold WITOLA Mr. Poonsak NAVATHONG Mr. Yuedhakarn YANANTO Mr. Elkira Nideshillo KIMBITA Mr. Martin Rugalagu RUHETA Ms. LUCERO Revollo Susana Ivonne Ms. HUANG Xiaohong	34 36 24 32 31 38 42 41 29 37	ガーナ ケニア コロンビア ザンビア タイ タイ タンザニア タンザニア 中国	2000.10.8 2001.9.9	336	3360	112	文部省	帯広畜産大学原虫病研究センター
13	JOLC7・土地区画整理事業	7	Mr. Carlos Enrique ALVAREZ Tobar Ms. SANCHEZ Velez Maria Victoria Ms. Juana Nelly GUEVARA Hurtado Mr. Augusto Cesar PINTO Carrillo Ms. Ana Maria ARIAS COBALEDA Ms. Gloria Del Socorro BOLANOS Cashillo Mr. QUESADA Gomez Henry	39 35 42 35 28 37 38	コロンビア コロンビア コロンビア コロンビア コロンビア コロンビア コロンビア	2000.10.9 2000.12.19	71	497	16.57	建設省	(社)北方圏センター 帯広市役所
14	畑作管理	10	Ms. Herni Rayhani YUSUF Mr. IWAN Ridwan Mr. Samuel Yaw KWAKTENG Mr. BASSIA BASSIA Amos Mr. Edwin M. NKUMALO Mr. DIALLO Cire Mr. Manzoor Ahmed KANSI Mr. Dr.M.Ehsan AKHTAR Mr. LIVAE Remos Nena Mr. Thonglo KHAMVONGSA	37 36 44 33 40 52 44 44 42 35	インドネシア インドネシア カメルーン スワジランド セネガル パキスタン パキスタン ミクロネシア ラオス	1999.10.17 2000.8.20	308	3080	102.7	国際協力事業団	(社)北方圏センター 帯広市役所

No.	研修コース名漢字 15 女性指導者のための 食物栄養改善	定員	研修員氏名	年齢	国名	受入期間	受入日数	人日	人月	関係省庁 国際協力事業団	研修機関 (社)北方圏センター 帯広大谷短期大学 和洋女子大学 帯広市
16	農業分野における 情報処理技術	8	Ms. Elizabeth Gebretsadik HADERA	32	エチオピア	2000.10.29 2001.1.27	90	720	24	国際協力事業団	(社)北方圏センター 帯広大谷短期大学 和洋女子大学 帯広市
			Ms. ASHONG-LAMPTHEY Grace Adzeiso	38	ガーナ						
			Ms. ALESANA Suafai	20	ザモア						
			Ms. Aika Sarah KOMBE	31	タンザニア						
			Ms. Okuii JOSHUA	27	タンザニア						
			Ms. YAMAN Clementine Karia	41	バブア・ニューギニア						
			Ms. Agnes Sepotokana MOTHOB	32	ボツワナ						
			Ms. Ireen MBENGO	33	マラウイ						
			Mr. IDA Egburu Arimama	40	インドネシア						
			Mr. Felix Samuel Nii Awi HAMMOND	41	ガーナ						
			Ms. Busaya PINSUWAN	29	タイ						
			Mr. Khatib Mohammed KHATIB	42	タンザニア						
			Mr. Osman Erdinc SEVIM	29	トルコ						
Ms. Ayfer BILGINLER	34	トルコ									
Mr. Mohammad Rezaul HAQUE	36	バングラデシュ									
Mr. Kamlesh Shashi PRAKASH	43	フィジー									
17	市場経済下生産者・ 協同組合対応	12	Mr. ZHANG, Song-Bai	37	中国	2000.3.12 2000.4.30	49	588	19.6	国際協力事業団	帯広畜産大学
			Mr. WU, Xiang-Hua	40	中国						
			Mr. XU, Gang-Jun	43	中国						
			Mr. LIU, Jian-Bo	36	中国						
			Ms. Li, Deng-Mei	34	中国						
			Mr. LUO, Zhong-Min	43	中国						
			Mr. CONG, Shan	29	中国						
			Mr. ZHENG, Guo-Jian	38	中国						
			Ms. Li, Yu-Xiu	43	中国						
			Ms. NAGGAYI Anne Makumbi	37	ウガンダ						
			Mr. Ponkrit OUYTA	31	タイ						
			Mr. Freddie Osvaldo PINANEZ CONTRERA	34	パラグアイ						
			Mr. Stephen Nomsa DUBE	41	ボツワナ						
Mr. ACKHASONE Bounkham	41	ラオス									
18	食肉及び 食肉加工品の保蔵技術	5	Mr. Joseph KALUMBA	37	ザンビア	2001.1.21 2001.7.7	167	835	27.83	国際協力事業団	(社)北方圏センター (株)北海道畜産公社十勝事業所 北海道帯広保健所食肉検査事務所
			Mr. Justin Nkandu MWANSA	38	ザンビア						
			Mr. Richard Kalimukwa LIKANDO	29	ザンビア						
			Mr. Kenneth BANDA	36	ザンビア						
			Ms. Kezia Mbita KATYAMBA	35	ザンビア						
			Mr. Chrispin Tumeo CHANDA	43	ザンビア						
			Mr. Martin SEKELETI	37	ザンビア						
			Mr. Zoolo NEWA	30	ザンビア						
			Mr. Edwin MUYUNDA	34	ザンビア						
			Mr. Justine LUBUMBE	37	ザンビア						
			Ms. Marjory CHONYA	37	ザンビア						
			Ms. Marjory CHONYA	27	ザンビア						
			19	ザンビア農業普及	11						
Mr. Justin Nkandu MWANSA	38	ザンビア									
Mr. Richard Kalimukwa LIKANDO	29	ザンビア									
Mr. Kenneth BANDA	36	ザンビア									
Ms. Kezia Mbita KATYAMBA	35	ザンビア									
Mr. Chrispin Tumeo CHANDA	43	ザンビア									
Mr. Martin SEKELETI	37	ザンビア									
Mr. Zoolo NEWA	30	ザンビア									
Mr. Edwin MUYUNDA	34	ザンビア									
Mr. Justine LUBUMBE	37	ザンビア									
Ms. Marjory CHONYA	37	ザンビア									
Ms. Marjory CHONYA	27	ザンビア									
		145									

3-1. 個別 (A/B移管) 受入実績内訳 (札幌)

No	研修科目	コース番号	氏名	研修番号	年齢	国名	性別	開始日	終了日	入日	入月	研修機関	場所	備考
1	環境山化学物質分析技術	J-99-12644	Ms. ALIJANA SHAGHAR	D-99-04637	30	モンゴル	女性	00.3.20	01.3.19	084	12	北海道環境化学研究所センター	札幌	北海道環境化学研究所
2	深層地熱資源	J-99-11280	Mr. Anouar AL-OMAR	D-99-03073	47	シリア	男性	00.4.15	00.5.7	021	07	北海道大学	札幌	西川研研習センター
3	地盤改良	J-99-10888	Mr. HU Guang-Yuan	D-99-02691	42	中国	男性	00.4.2	00.7.4	093	3	北海道大学	札幌	中田研研習センター
4	地盤改良技術・普及	J-99-11050	Mr. Francisco Alfredo TORRES	D-99-02843	40	エル・サルバドル	男性	00.8.28	00.9.30	033	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
5	地盤改良技術 (地域提案型研修)	J-00-10186	Mr. Annon Wesley PIHRI	D-00-01545	43	マラウイ	男性	00.6.29	00.10.31	124	4	札幌市水道局	札幌	北海道環境化学研究所
6	地盤改良	J-00-10873	Mr. Alahadi Odi Ki New Garden YAKASHIHOJA	D-00-02222	32	トンガ	男性	00.6.12	00.9.9	089	3	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
7	地盤改良	J-00-10893	Ms. Silvia Marroqui MEJIA Alvarado	D-00-02242	34	エル・サルバドル	女性	00.7.11	00.10.6	087	2	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
8	育苗・組上げ技術	J-00-10894	Ms. Oscar Edwin SOLORZANO GONZALEZ	D-00-02243	33	エル・サルバドル	男性	00.7.5	00.5.30	087	2	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
9	地盤改良技術	J-00-11135	Mr. Muzaffer Serdar ALTAN	D-00-02484	42	トルコ	男性	00.7.4	00.8.3	030	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
10	地盤改良技術	J-00-11135	Mr. Yekta YUCEL	D-00-02490	45	トルコ	男性	00.7.4	00.8.3	030	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
11	地盤改良技術	J-00-11135	Mr. Eructul SOZER	D-00-02491	43	トルコ	男性	00.7.4	00.8.3	030	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
12	大豆種子検査	J-00-10030	Mr. Sani Sapta MAWARDI	D-00-00705	35	インドネシア	男性	00.6.5	00.11.15	153	5	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
13	ウイルス学	J-00-10809	Ms. Triyenti KRISHNAN	D-00-02158	44	インド	女性	00.8.28	01.6.27	303	10	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
14	肉牛の肥育管理技術等の肉牛の科学的研究手法	J-00-10962	Mr. Alejandro SCHOR	D-00-02311	36	アルゼンティン	男性	00.9.5	00.12.5	091	3	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
15	森林保護立業	J-00-10361	Mr. ENRYADI HIKAWAN	D-00-01710	45	インドネシア	男性	00.9.10	00.9.16	006	0	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
16	肉牛の肥育管理技術	J-00-10786	Mr. SHIMANUSAN Nyandoo	D-00-02135	24	モンゴル	男性	00.10.2	00.10.31	029	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
17	小規模農産物	J-00-11161	Ms. SALWA MOHAMED ALIB ALBI El Fush	D-00-02510	36	エジプト	女性	00.11.5	00.12.2	027	0	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
18	免疫学	J-00-10697	Mr. HOANG Xuan Nghinh	D-00-02046	43	ベトナム	男性	00.11.2	00.11.10	048	0	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
19	肉牛の肉質分析技術	J-00-10961	Ms. Maria Elena COSSU	D-00-02310	35	アルゼンティン	女性	00.11.1	00.12.8	037	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
20	建設技術	J-00-11618	Mr. Li Yun	D-00-09796	38	中国	男性	01.1.25	01.2.28	034	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
21	建設技術	J-00-11618	Mr. Li Li	D-00-09800	33	中国	女性	01.1.25	01.2.28	034	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
22	人工繁殖	J-00-11025	Mr. Carlos Segundo JARA MUNOZ	D-00-02274	56	チリ	男性	01.1.25	01.3.18	059	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
23	飼料管理	J-00-10494	Mr. Daniel Lopez AQUINO	D-00-01843	42	ペルー	男性	01.1.30	01.3.20	049	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
24	自然環境GIS	J-00-10207	Mr. Mohd Sofian Bht. ABU BAKER	D-00-01556	31	マレーシア	男性	01.1.22	01.12.2	304	10	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
25	生物多様性保全計画	J-00-11509	Ms. DWI Astuti	D-00-11841	39	インドネシア	女性	01.1.21	01.12.2	304	10	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
26	初等教育カリキュラム改善	J-00-10663	Ms. Du Thi Ngoc Lien	D-00-02412	30	ベトナム	女性	01.3.29	01.4.28	000	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
27	インフルエンザウイルスの研究	J-00-10633	Ms. Malinee CHITTAPANPICH	D-00-01882	39	タイ	女性	01.3.8	01.6.2	066	2	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
28	モニタリング地域技術	J-00-11585	Mr. Soss Lopez-Miruel HERNAN	D-00-06502	46	ホンジュラス	男性	01.1.15	01.2.18	034	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
29	畜舎管理	J-00-10464	Mr. Edwin D. EUSEBIO	D-00-01813	27	ペルー	男性	01.1.30	01.3.20	049	1	北海道環境化学研究所	札幌	北海道環境化学研究所
								計	2628	87	6			

3-2. 便宜供与 (C移管) 実績内訳 (札幌)

No	研修科目	コース番号	氏名	研修番号	年齢	国名	性別	開始日	終了日	入日	入月	研修機関	場所	備考
1	日本交通計画 (新北海道内視察研修)	J-99-10279	Ms. Adu Eshin Phaithe	D-99-01680	39	メキシコ	女性	00.6.19	00.7.25	036	1	札幌市保健所	札幌	第28回日本交通計画
2	日本交通計画 (新北海道内視察研修)	J-99-10279	Mr. Martin Antonio Manriquez	D-99-01689	39	メキシコ	男性	00.9.2	00.9.2	026	0	札幌市保健所	札幌	第28回日本交通計画
3	日本交通計画 (新北海道内視察研修)	J-99-10279	Mr. Martinez Carriles Mauricio Oscar	D-99-01688	39	メキシコ	男性	00.9.4	00.10.7	033	1	札幌市保健所	札幌	第28回日本交通計画
4	小規模農産物	J-00-11139	Mr. Mohamed Ali GENEVA	D-00-02598	33	エジプト	男性	00.12.17	00.12.25	009	0	北海道環境化学研究所	札幌	エジプト小規模農産物プロジェクト
								計	2628	87	6			

※開始日・終了日はA移管は全体受入期間、B・C移管は北海道受入期間。

3-3. 地方枠・個別 (A/B移管) 受入実績内訳 (帯広)

No.	研修コース名(漢字)	研修員氏名	年齢	国籍	移管	受入期間	受入日数	入日	入月	研修機関	備考
1	ワインによる地方自治体の地域経済基盤 (地方枠)	Mr. Edgar Hernandez FORERO	50	コロンビア		2000.9.2	45	45	1.5	池田町	
2		Mr. ESPINOZA Pena Jose Antonio	34	ペルー							
3		Mr. Fernando CASTELLANOS Echazu	36	ボリビア							
4	自然公園の管理・運営と利用 (エコツアー)	Mr. INSTANTO	38	インドネシア		2000.9.10	35	35	1.2	釧路国際ウェットランドセンター	
5		Ms. Sirmamee PATARAPITAYA	25	タイ							
6		Mr. GOH Kar Seng	38	マレーシア							
7	寒冷地における社会基盤整備の工学技術 (地方枠)	Mr. ABDULLAEV Akmal Mahsharovich	44	ウズベキスタン		2000.10.10	45	45	1.5	北見市、北見工業大学	
8		Mr. SYTDYKOV Alybek Baktygereevich	46	カザフスタン							
9		Mr. MAMAJANOV Nabi Kalimatovich	29	キルギス							
10	朝陽市農業開発 (地方枠)	Mr. WANG Hong-Guang	38	中国		2001.3.4	28	28	0.9	帯広市及び地元の農業協同組合	
11		Mr. WANG Hui	44	中国							
12	造林	Mr. ICHOA Tran Quang	36	ヴェトナム	A	2000.8.20	79	79	2.5	(社)海外林業コンサルタント協会、北海道森林管理局、北海道庁、帯広市役所	農林水産省
13	社会林業	Mr. WIN HLAIN	46	ミャンマー	A						
14	湿地保全	Mr. Roberts SILLINS	27	ラトヴィア	A	2000.7.4	34	34	1.1	釧路国際ウェットランドセンター、環境庁、朝陽市環境政策部環境政策課	環境庁
15	原虫感染症の診断に係る基礎的実数手法	Mr. Deandinsuren BOLDBAATAR	29	モンゴル	A	2000.4.1	306	306	10.2	帯広畜産大学	
16	ウイルス感染症の診断に必須の基礎的実数手法の習得	Ms. Tumujav BUYAN-NEMEKH	30	モンゴル	A	2000.4.1	306	306	10.2	帯広畜産大学	
17	家畜感染症に関する免疫学的手法の研究	Ms. Dashdelger BUYANDELGER	28	モンゴル	A	2000.4.1	306	306	10.2	帯広畜産大学	
18	家畜感染症における免疫学的手法の研究	Mr. PUREVTSEREN Byamba	48	モンゴル	A	2000.11.8	20	20	0.7	北里大学	
19	個別・長期技術 (一般技術) / 流通・マーケティング	Mr. Kenyi Romeo ONITSUKA INOUE	25	パラグアイ	A	2000.4.3	361	361	12.0	土曜町農業協同組合	
20	畜産技術	Mr. Mahmoud Ahmed EL-RAFI'AH	47	エジプト	A	2000.8.22	11	11	0.4	帯広畜産大学	
21	粗飼料生産利用	Mr. Hera HENDRAWAN	38	インドネシア	B	2000.8.1	89	89	3.0	道立朝陽農場試験場	
22	粗飼料生産利用	Mr. RUKMANTORO Salim	43	インドネシア	B	2000.8.1	89	89	3.0	道立朝陽農場試験場	
23	草地・飼料作物	Mr. Ezequiel JIMENEZ Carrero	36	ボリビア	B	2000.7.12	86	86	2.9	帯広畜産大学	

4-1. 集団／特設／国別特設等コース概要（札幌）

コース概要		目 標	内 容
1	コース名 南アフリカ地域開発行政セミナー (国別特設)	受入期間 00年5月8日～00年6月17日	受入数 12
2	コース名 都市型水質汚濁検査技術 (一般特設)	受入期間 00年5月15日～00年7月16日	受入数 5
3	コース名 触媒科学研究 (集団)	受入期間 00年5月22日～00年11月23日	受入数 8

目 標	内 容
<p>(1)地域総合開発の基本的な施策と組織体制について理解する</p> <p>(2)地方行政及び地方財政の制度の整備手法について理解する</p> <p>(3)地域開発プロジェクトの策定、運営管理に関する手法を習得する</p> <p>(4)開発における環境配慮の重要性について理解する</p>	<p>講義及び視察・見学を組み合わせた以下の研修項目から構成される</p> <p>(1)北海道総合開発の体制</p> <p>(2)開発計画概論</p> <p>(3)地方経済構造の分析</p> <p>(4)札幌のまちづくり</p> <p>(5)地域開発金融</p>
<p>(1)水質汚濁による環境汚染について、科学的行政を進めるために必要とされる水質検査技術を体系的に習得する</p> <p>(2)都市における水質汚濁防止対策を、札幌市の経験を例として総合的に理解することにより、未然防止対策の重要性を認識し、各国が水質保全行政を充実していく上で求められる知識を習得する</p>	<p>検査実習に重点を置き、講義・実習・見学などにより構成される。</p> <p>(1)講義・札幌市の水質汚濁防止対策、水質汚濁防止等の検査方法など</p> <p>(2)実習・河川水検査、飲料水検査、水系病原細菌検査</p> <p>(3)見学・下水道施設、廃棄物処理施設、工場排水処理施設、環境監視センター、環境教育関連施設、企業の公害防止施設など</p>
<p>(1)触媒研究における6つの主要分野、即ち表面構造物性、表面分子ダイナミクス、触媒設計、界面エネルギー変換、固体触媒及び精密有機触媒についてのup-to-dateな講義を通じて触媒科学研究の基礎を理解する</p> <p>(2)6つの分野毎の研究テーマの実習を通じ触媒科学及びその利用技術の向上に貢献できるような研究者を育成する</p>	<p>研究室における研修参加者個々人の研究活動を主体とする各参加者は、コース目標である6つの主要研究分野について、自身の研究のための研究主題を下記の中から選択する必要がある</p> <p>(1)表面科学（表面構造物性分野）；低エネルギー電子回折と高エネルギー電子回折などの先端的研究機器、並びに方法の研究開発</p> <p>(2)表面化学（表面分子ダイナミクス分野）；反応場所に敏感な表面分子動力学と、紫外領域レーザー光により誘発される新しい化学反応経路の動力学的研究</p> <p>(3)不均一系触媒反応-A（触媒設計分野）；環境化学、天然資源とエネルギー消費低減のための触媒研究（例えばレオノン代替品の開発など）</p> <p>(4)電極触媒反応（界面エネルギー変換分野）；原子及び分子レベルにおける固体/液体界面特性評価と界面新構造の創生</p> <p>(5)不均一系触媒反応-B（固体触媒分野）；大気汚染や酸性雨などの原因となる自動車や工場からの排気ガス（例えばNOx）などを低減する触媒の開発</p> <p>(6)均一系触媒反応（精密有機触媒分野）；有機金属化合物を使用する有機合成反応研究</p>

コース概要			
コース名	受入数	受入期間	目 標
4 (国別特設) 東欧生産管理 (B)	10	00年6月5日 ~ 00年7月14日	<p>(1)企業における生産性向上の実態と経営者の役割を理解する</p> <p>(2)市場要求に応じた商品を提供し、市場での競争力を養うために、企業活動をどのように展開すべきかを理解する</p> <p>(3)生産性向上のための生産システムの考え方及びその実践へのアプローチの技法や手順を理解する</p> <p>(4)原価管理を通じた生産性向上のための考え方と実践了アプローチを理解する</p>
5 (集団) 水道技術者養成	6	00年6月12日 ~ 00年9月9日	<p>水道技術者の基礎知識を理解し、分かりやすく説明ができることと、水道施設の機能を理解し、自国の建設改良計画及び維持管理体制の強化に結びつける</p>
6 (国別特設) 中国学校運営・管理	5	00年6月19日 ~ 00年7月16日	<p>学校運営に関する講義及び現場見学等を通じて、学校運営のノウハウを修得する</p>
7 (国別特設) ペルー地域開発計画指導者セミナー	15	00年6月19日 ~ 00年7月29日	<p>(1)地域総合開発の基本的な施策と組織体制について理解する</p> <p>(2)地方行政及び地方財政の制度の整備手法について理解する</p> <p>(3)地域開発プロジェクトの策定、運営管理に関する手法を習得する</p> <p>(4)開発における環境配慮の重要性について理解する</p>
			<p>講義、演習、企業訪問等により構成される</p> <p>(1)オリエンテーション</p> <p>(2)講義(企業経営における生産性運動の実践、市場経済のメカニズム、生産管理、原価管理、品質管理)</p> <p>(3)演習(価値分析、品質管理の実践)</p> <p>(4)企業訪問(民営化、証券取引、生産管理、品質管理、研究開発の取り組み)</p>
			<p>講義、実習により構成される</p> <p>(1)講義・水道行政及び経営(水道行政：経営の仕組み)水道計画(水需要予測・水道システムの構成)、水源と浄水施設計画・維持管理)、配水管理(送・配水施設・配水管の計画・維持管理設計・施行管理)、給水管理(給水装置・漏水防止)、水質管理(水質管理の意義・手法)、地下水学(地下水の構成)、浄水施設(浄水施設の設計(浄化システムの構成)、浄水施設の施行管理(工場現場)、管路の設計(管網計算等)、浄水場維持管理(設備・機器の点検・整備)、配水施設の維持管理(設備・機器の点検・整備)、漏水防止(漏水調査)水質管理(シャワーシステム、オートマタハイオアッセイ)水質試験(理化学試験、細菌検査、生物試験)、地下水探査(札幌市近郊)</p>
			<p>(1)文部省及び地方教育委員会による学校運営の概論に関する講義</p> <p>(2)公立学校・教育センターの視察を通じて、学校運営の業務を学ぶ</p> <p>(3)学校長・市町村教育委員会関係者との意見交換</p>
			<p>講義及び視察、見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される</p> <p>(1)北海道総合開発の体制 (6)開発事業</p> <p>(2)開発計画概論 (7)産業政策</p> <p>(3)地方経済構造の分析 (8)事例研究</p> <p>(4)札幌のまちづくり (9)カントリーレポート発表</p> <p>(5)地域開発金庫 (10)スタディレポート発表</p>

コース概要		コース概要	
コース名	受入数	受入期間	目 標
8 (一般特設) 農民参加による農業農村開発	9	00年6月20日 ~ 00年7月30日	地域資源利用の観点から、農業農村の活性化とその健全な発展に資するための総合的な整備手法とともに、地域の実状に合致した持続的な農業農村整備計画樹立とその推進に必要な知識・技術の習得を目標とする
9 (国別特設) 中央アジア農産物市場経済	12	00年7月5日 ~ 00年7月29日	(1)日本の農業政策、食品産業の現状について理解する (2)市場経済の機構と農協の果たす役割について理解する (3)日本における農業補助と農民経営の発展を理解する (4)農産物の流通と販売店の役割を理解する (5)農業普及体制と経営・技術・生活向上に向けての活動を理解する
10 (一般特設) 道路技術者養成	6	00年7月10日 ~ 00年9月7日	理論と実践の両面から道路建設技術の知識を習得させ実務に通じる道路技術者を養成する
11 (一般特設) 獣医技術	6	00年8月7日 ~ 00年11月12日	(1)動物の多発疾病の診断治療など臨床技術 (2)集団予防衛生対策の技術及び伝染病防疫対策手法 (3)食肉検査等食品衛生及び衛生指導監視体制手法 (4)獣医行政、動物診療体制及び行政機関、大学、研究機関、診療機関、農業団体等の組織体制構築の手法
			講義、当該分野についての事例研究、農村における現地の研修 関連施設及び農村総合整備地区視察研修により構成されている (1)村づくり(村づくり計画、組織づくり手法、女性の開発への参加推進、農民参加型農業・農村整備プロジェクト)について事例紹介 (2)農村整備(水管理、流通計画、集落環境整備計画、定住策等) (3)農村生産整備(ほ場整理、区画整理、営農改善計画等) (4)維持管理手法(荒廃地管理、農村エネルギー管理)
			(1)講義：日本の農業概要、北海道の農業概要、農業振興政策、北海道における農地改革と個人農の発展、農協系列組織ホクレンの役割、中央卸売市場の役割、大型農産物の役割、北海道農業の営農システム、道立農業試験場の業務と役割、農業共同組合の役割、農業改良普及所の業務と役割 (2)視察：畜産公社、中央卸売市場、乳業メーカー工場、農産物集出荷貯場加工施設、飼料会社、大型販売店、肥料工場、農業機械工場、農業試験場、食品工場、酪農・畑作野菜農家
			講義、実習等により構成される (1)道路の設計施工 (2)道路の構造物、橋梁の設計施工 (3)道路の維持管理
			講義、実技自習及び研修見学により構成され、理論と実践の両面から体系的な技術修得を図る (1)家畜飼養管理 (2)動物の内科の診断と治療 (3)動物の外科の診断と治療 (4)動物の繁殖科の診断と治療 (5)乳房炎防除対策 (6)腫瘍病理検査及び予防衛生 (7)食品衛生と環境衛生 (8)動物の保護と管理及び狂犬病予防

コース概要				
コース名	受入数	受入期間	目 標	内 容
12 (集団) 下水道維持管理	8	00年8月7日 ~ 00年10月9日	(1)下水道及び下水処理に関する基礎的な知識を修得すること (2)音楽・ポンプ工場・下水処理施設の維持管理に必要な知識を修得すること (3)資源の有効利用の現状を理解すること (4)工場排水の処理及び除害施設について必要な知識を修得すること	基本的に「標準活性汚泥法」を中心とした実習・演習等により構成される (1)下水道の基礎概念 (2)管渠の維持管理 (3)処理場の維持管理 (4)資源の利用 (5)工場排水の規制
13 (個別特設) インドシナ地域総合開発計画管理セミナー	11	00年8月28日 ~ 00年10月14日	(1)地域総合開発の基本的な施策と組織体制について理解する (2)地方行政及び地方財政の制度の整備手法について理解する (3)地域開発プロジェクトの策定、運営管理に関する手法を習得する (4)開発における環境配慮の重要性について理解する	講義及び視察・見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される (1)北海道総合開発の体制 (2)開発計画概論 (3)産業政策 (4)事例研究 (5)カントリレポート発表 (6)カンタドレポート発表 (7)地域開発金融
14 (個別特設) 中央アジア衛生行政	11	00年8月23日 ~ 00年9月17日	(1)わが国の医療に関する基本的理念を把握し、行政の責任を理解する (2)行政機関により提出される保健医療サービスの内容と政策的課題を理解する (3)行政機関の組織や活動内容、サービス提供の義務を理解する (4)日本の衛生行政の範囲、内容、組織、構造について理解する	(1)総論(講義)：母子保健、水道環境、日本の厚生衛生医療従事者の養成、地域保健、感染症対策 (2)各論(講義)：札幌市の水道行政、札幌市の下水道行政 (3)視察：保健所、衛生研究所、血液センター、小児総合保健センター、市保健センター、国保病院、老人保健施設、食肉検査事務所、浄水場、水道局処理場
15 (一般特設) 地域環境保全技術	5	00年9月2日 ~ 00年12月19日	環境保全対策に関する諸制度や実際の施策について理解するとともに、測定分析に必要な技術の習得と環境保全の総合的管理能力を養う	講義、技術研修、視察研修により構成され、理論と実践を組み合わせ実施する (1)講義：環境法諸制度、環境アセスメント、公害防止計画環境管理計画等各種計画、地学的規模の環境問題に対する地域としての取り組み (2)技術研修：汚染物質の測定分析技術、環境モニタリング環境汚染負荷の低減策
16 (一般特設) 石炭転換・利用技術	4	00年9月4日 ~ 01年9月2日	石炭転換科学や技術についての知識を得るとともに、石炭の生産・利用における環境問題についての知識を得、本研修終了時には、研修員は上記の事項を修得することを期待される	(1)石炭の各種転換反応の基礎的理解 (2)石炭の各種転換反応効率の向上及び環境対策上の問題とその解決法の理解 (3)各種実験手法の習得 石炭の液化、ガス化、燃焼、既利用の各コースに分け、石炭の基礎、反応実験、各種分析の手法を自習を通して習得する

コース概要		コース概要	
コース名	受入数	受入期間	目 標
		内 容	
17 (一般特設) 地域土木行政セミナー	5	00年9月25日～00年11月9日	<p>(1)公共土木事業に係わる法律制度、予算、執行体制等日本の公共事業制度の全般的な知識の習得</p> <p>(2)国と地方の役割分担、北海道開発の経緯などの知識の習得</p> <p>(3)公共土木事業と環境保全の調和に関する知識の習得</p>
18 (一般特設) 寒冷地水道技術者養成	5	00年10月2日～00年12月3日	<p>寒冷地特有の水道技術に関連する</p> <p>(1)漏水防止</p> <p>(2)水質管理</p> <p>(3)浄水施設</p> <p>(4)水道計画、配水管構成</p> <p>(5)設計、施工管理</p> <p>(6)給水装置についての知識、技術を習得し、自国の設計改良計画及び維持管理体制の強化に結びつける</p>
19 (集団) 地域開発計画管理セミナー	9	00年10月23日～00年12月16日	<p>(1)地球総合開発の基本的な施策と組織体制について理解する</p> <p>(2)地方行政及び地方財政の制度の整備手法について理解する</p> <p>(3)地域開発プロジェクトの策定、運営管理に関する手法を習得する</p> <p>(4)開発における環境配慮の重要性について理解する</p>
20 (国別特設) 東欧環境行政	10	00年10月16日～00年11月19日	<p>(1)環境保全行政に関する基礎知識を習得する</p> <p>(2)汚染防止に関する必要知識を習得する</p> <p>(3)汚染防止の現在の方法を理解する</p> <p>(4)政府と地方自治体の役割と働きについて理解する</p>
21 (国別特設) エジプト小学校理科教科教育改善	4	00年10月16日～00年12月7日	<p>学校教育制度に関わるカリキュラム及び教育方法の研究等を対象とし、わが国の理科教科教育の現状を幅広く視察し、優れた開発教材及び授業方法の修得を目標とする。特にそのプログラムにおいては、わが国の優れた教育研究環境である教員養成及び教員採用制度の統一、大学教育と教育研究の統一、大学及び教育研究機関と教育実践現場との研究交流、民間教育団体と教師と研究開発手法の修得につながる幅広い視察、研修を行うものとする</p>
		<p>講義、セミナー、現地視察等により構成される</p> <p>(1)講義：公共土木事業に係わる法律制度・予算制度・執行体制、国と地方の役割分担、各種土木施設の計画・工事施工等のフロー、公共土木事業と環境保全の調和</p> <p>(2)セミナー：講師と研修員との意見交換</p> <p>(3)現地視察：各種土木施設及び土木工事現場の視察</p>	
		<p>講義、特別講義、演習実習、見学、ディスカッション等により構成され、理論と実践の両面からアプローチし、効果的な技術移転を図る</p>	
		<p>講義及び視察・見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される</p> <p>(1)北海道総合開発の体制 (6)開発事業</p> <p>(2)開発計画概論 (7)産業政策</p> <p>(3)地方経済構造の分析 (8)事例研究</p> <p>(4)札幌のまちづくり (9)カントリーレポート発表</p> <p>(5)地域開発金融 (10)スタディレポート発表</p>	
		<p>講義、実習等により構成される</p> <p>(1)日本の環境行政</p> <p>(2)地方自治体の環境保全行政、札幌市の概要、水質汚濁対策、大気汚染対策、交通公害対策、騒音・振動対策、土壌汚染対策、環境教育・広報活動、環境アセスメント、環境汚染調査・モニタリング、市内見学</p> <p>(3)札幌市の環境整備行政、下水道行政、水道行政、廃棄物行政</p> <p>(4)地球環境保全、地球レベルでの大気汚染問題、北大地球環境科学研究所の概要、自然保護概要</p> <p>(5)企業における公害対策公害防止施設見学</p>	
		<p>わが国の学校教育制度、教員養成・研修制度の概要を紹介した上で、理数教科教材の作成に係わる指導を行う</p>	

コース概要		コース概要		コース概要		コース概要	
コース名	受入数	受入期間	日 標	内 容	答		
22 (国別特設) 中米地域生活廃棄物処理	11	00年8月7日 ~ 00年9月24日	日本で行われている廃棄物処理技術、廃棄物処理における社会的側面、廃棄物再利用・資源回収の重要性を理解し、中米の現状に適切な廃棄物処理技術を選定できる	(1)法制度と処理処分の現状 (2)地方行政の仕組みとゴミ処理行政 (3)ゴミ処理技術概論 (4)札幌市のゴミ処理取集と分別の意義 (5)市民協力の取り組み (6)道路清掃 (7)資源回収作業、収集車両の管理現場の視察 (8)資源リサイクル技術と中間処理 (9)焼却処理施設、資源化施設、一般廃棄物の最終処分場、コンポスト化施設視察 (9)札幌市における生活排水対策 (10)生活排水処理技術の概要 (11)浄化槽視察、し尿処理施設視察 (12)最終処分場の構造・維持管理と跡地利用(視察含む) (13)医療院廃棄物処理(視察含む) (14)海上国における道路清掃、収集運搬概論 (15)アクションプラン作成			
23 (集団) エレクトロニクス技術	8	00年11月6日 ~ 01年2月14日	次の主要技術、知識の修得を目標とする (1)マイクログラフのアセンブリ言語を使い、プログラムを設計する基礎技術 (2)光センサー入力とモーター出力とを用いて、自立制御の自動車設計する応用技術 (3)C言語、HTML言語などの高級言語に関する応用知識 (4)ネットワークとマルチメディアとに関する応用技術	講義、演習、実験、研修旅行などにより構成される札幌市エレクトロニクスセンターを主たる実施場所として 施設内設置の各種機械材を活用しながら研修を行う また、個々の研修員にコンピュータを貸与し、研修効率の向上を図ることとする 講義、演習、実験を通じて修得した諸理論及び技術の理解と我が国における技術の普及と現況、現状把握、さらには人々とのふれ合いを通して日本についての理解を深めていくため、実習及び研修視察旅行を実施する			
24 (国別特設) 中央アジア経営管理	9	00年11月8日 ~ 00年12月15日	(1)日本における生産性運動の役割、企業経営のあり方と経営手法について理解する (2)市場要求に応じた製品や商品を供給し、市場での競争力を養うために、企業活動をどのように展開すべきか理解する (3)生産性向上のための生産システムの考え方を理解しその実践へのアプローチの技法や手順を理解する (4)日本における企業民営化の経験、課題、プロセスを理解する	(1)講義・討論：企業経営における生産性運動の実践、市場経済下の経営戦略と経営財務、市場経済のメカニズムと(輸出)マーケティング、生産管理、品質管理、民生化、総括討論 (2)以下のテーマに関連した行政機関・企業の訪問：中小企業振興策、生産管理、産業振興策、産業技術振興策、生産・品質管理、中小企業経営、地域振興、マーケティング			
25 (集団) 新生児・乳児マス・スクリーニング (クレチン症、フェニルケトン尿症)	9	00年10月30日 ~ 00年12月24日	(1)新生児・乳児マススクリーニング検査の基礎知識と技術の習得 (2)マススクリーニング技術の重要性と意義の理解 (3)自国におけるマススクリーニングの普及	講義、実習等により構成される (1)講義：新生児・乳児マススクリーニング概論、日本の周産期医療、母子保健対策、先天性代謝異常症、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成症、神経芽細胞腫、酵素免疫測定法、DNA診断 (2)実習：先天性代謝異常スクリーニング法、先天性甲状腺機能低下症スクリーニング法、先天性副腎過形成症スクリーニング法、神経芽細胞腫スクリーニング法、酵素免疫測定法の基礎と実際遺伝子診断のための基礎実験			

コース概要		コース概要	
コース名	受入数	受入期間	目 標
26 (一般特設) エキノコックス症対策	7	01年1月8日～01年3月11日	それぞれの国におけるエキノコックス症のような地域流行病に対して、成功し得る防疫対策を講じるために適切な能力を本プログラムを通じて開発することが期待される
27 (一般特設) 狂犬病等のウイルス性人畜共通伝染病の診断法と予防法	7	01年1月8日～01年3月18日	①人畜共通伝染病の予防法の概念と防疫事業の実践方法の習得 ②狂犬病などのウイルス性人畜共通伝染病の実験室内診断法と疫学調査法の習得
28 (国別特設) パレスチナ地方自治体行政	8	01年1月21日～01年2月21日	①日本の実体に即して、国民全体に共通した基盤としての国家行政の中にあつて、住民に最も身近な行政がどのようなシステムの上に成立し、運営されているかを理解する ②地方自治体における政策形成の実務について、札幌市における事例を理解する ③札幌市における上記に関する行政施設を視察・見聞しながら、地方自治のシステムについての視野を広げる
29 (一般特設) 食品保健行政	10	01年1月15日～01年3月11日	生産・加工・流通・消費までの一貫した食品衛生対策を理解する
			内容
			E症の基礎的概念に関する講義、保健所におけるE症調査の公衆衛生的な面に関する特別実習・衛生学と公衆衛生学のいろいろな面に関する特別講義などから構成される (1)講義：北海道におけるE症対策、エキノコックスの生物学、エキノコックスの生態学、E症の免疫血清学的診断、E症の臨床病理、E症の臨床 (2)実習：スクリーニング試験としての酵素免疫法(ELISA)確認試験としてのウエスタン・ブロット法(WB)、確認試験としてのボメラリ-7連鎖反応法(PCR)、マウスクリーニングと臨床検査システム 講義、実習及び関連機関の視察研修により構成され、理論と実践の両面から効果的な技術移転を図る (1)講義：人畜共通伝染病学総論、ウイルス性人畜共通伝染病学と国際伝染病学各論、狂犬病の臨床、疫学、臨床診断法、実験室内診断法、ワクチンによる予防法、免疫検査法 (2)実習：狂犬病ウイルスの動物接種法、組織培養法、ウイルス学的診断法 講義及び関連機関の視察研修により構成され、理論と実践の両面から研修を実施する。 (1)講義：地方自治制度、予算と決算、公務員制度、経済と企業振興、保健衛生事業、入札制度 (2)視察：区役所の実務、滝川市行政の実務地 講義、実習、視察により構成され、理論と実践の両面から効果的な技術移転を図る (1)食品衛生概論 (2)食品科学概論 (3)食品工業概論 (4)栄養学・食品学・栄養指導 (5)健康管理

コース概要		コース概要	
コース名	受入期間	目 標	内 容
30 (国別特設) 中央アジア地域開発セミナー	01年1月17日 ~ 01年2月24日	11 (1)地域総合開発の基本的な施策と組織体制について理解する (2)地方行政及び地方財政の制度の整備手法について理解する (3)地域開発プロジェクトの策定、運営管理に関する手法を習得する (4)開発における環境配慮の重要性について理解する	講義及び視察・見学の組み合わせによる以下の研修項目から構成される (1)北海道総合開発の体制 (6)開発事業 (2)開発計画概論 (7)産業政策 (3)地方経済構造の分析 (8)事例研究 (4)札幌のまちづくり (9)カントリレポート発表 (5)地域開発全概 (10)スタディレポート発表
31 (国別特設) メキシコ地域産業育成・公的技術セミナー	01年1月15日 ~ 01年2月18日	7 (1)日本における地方産業の育成・発展の歴史について理解する (2)日本の自治体における産業育成政策(特に公設試験場の役割及びその運営手法)について理解する (3)地方に立脚した中小・零細企業の実践について理解する (4)地方自治体の産業振興担当者と意見交換を行い、地方産業の育成手法及び問題点について理解する	講義及び施設見学により構成される (1)北海道の産業振興施策の概要(講義及び道立工業試験場視察) (2)食品工業・木材工業の概要と振興政策(講義及び道立食品加工研究センター・林産試験場視察) (3)産業拠点の開発と企業立地促進政策 (4)中小企業への支援政策 (5)技術者・技能者の育成政策 (6)中小企業視察 (7)産業振興担当者との意見交換
32 (国別特設) 中央アジア環境行政	01年2月28日 ~ 01年3月24日	11 (1)環境保全行政に関する基礎知識を習得する (2)汚染防止に関する必要知識を習得する (3)汚染防止の現在の方法を理解する (4)政府と地方自治体の役割と働きについて理解する	(1)講義：札幌市の環境行政の概要、札幌市の水質汚濁対策、土壌汚染対策、廃棄物処理、大気汚染対策、札幌市の自動車公害 (2)見学：水質汚濁防止対策、廃棄物処理場、大気汚染防止策
33 (一般特設) 地方教育行政セミナー(サブサブハラアフリカ諸国)	01年1月22日 ~ 01年2月26日	14 (1)札幌市の事例を通してわが国の初等教育行政を理解する (2)札幌市の教育制度及び教育研修制度の実態について理解を深め、自国への適用につき考察する。	(1)講義：札幌市の教育制度、教員養成制度、教育行政 小学校、中学、高校、特殊教育等 (2)見学：小学校、中学、高校、特殊教育、教育施設等
34 (国別特設) 農畜水産食品の安全管理技術(サブサブハラ)	01年1月15日 ~ 01年3月11日	10 (1)食品安全管理に関する基礎的な知識を習得する (2)食品安全管理に関する日本の先進的な技術を習得する (3)HACCP(総合衛生管理製造過程)につき理解する	(1)講義：食品衛生概論、食品加工概論、食品流通概論等 (2)見学：酪農家、食肉加工場、卸売市場等 (3)実習：食肉、生乳、水産物加工菌の検出実習、HACCP演習等

4-2. 集団／特設／国別特設等コース概要（帯広）

		コース概要		
コース名	受入数	受入期間	目 標	内 容
1 （一般特設） 畑作物の種苗生産	7	2000年4月2日～2000年7月16日	健全無病な種苗生産、栽培及び採種技術の手法について、主に実習を中心とした研修により技術修得させ、研修員自らが、これら手法を用いて自国で畑作物の種苗生産を体系的に実施できる能力を養う。	下記の研修項目を共通して実施し一部細項目については馬鈴薯、大豆、とうもろこしに分かれて研修を実施する。 (1) 健全無病な種苗の普及技術 (2) 生長点培養技術 (3) 網室での増殖技術 (4) 病害排除去技術 (5) 病害検定技術 (6) 病害検定に必要な血清製造技術 (7) 育種の基礎 (8) 栽培、採種技術 (9) 遺伝資源の保存と利用
2 （集団） 土壌診断環境保全	7	2000年5月14日～2000年8月19日	(1) 農作物の安定・高品質生産に向けた土壌診断の概念と手法を理解する。 (2) 持続的農業に向けた農業生産環境の適正な管理の概念と手法を理解する。	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 気象、農業、土壌との関わり (2) 土壌診断 (3) 環境保全 (4) まとめ
3 （一般特設） 地域流域環境	8	2000年5月21日～2000年8月6日	(1) 地域流域環境管理の原理と基礎的手法を理解する。 (2) 景觀生態学の基礎を理解する。 (3) 水量、水質の基礎的技術と運用について理解する。 (4) 地域流域における持続的開発を可能にする自然環境保護の考え方について理解する。	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 流域環境と流域管理 (2) 利水と治水 (3) 水質保全 (4) 上水道事業 (5) 下水道事業
4 （集団） 畑地帯における農業開発	5	2000年6月4日～2000年8月24日	以下の技術・知識の修得を目標とする。 (1) 農業生産基盤整備に関する全般的な事業進捗及び土木技術・知識に係る体系 (2) 主として農業用ダムや灌漑排水事業等における土木技術・知識の概要 (3) 農村における生活環境向上のための整備手法	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 十勝農業の現状 (2) 農業農村整備事業の概要 (3) 整備事業の計画・実施、施行技術の概要 (4) 農業環境整備 (5) 農地等の保全管理
5 （一般特設） 畑作管理	10	2000年6月18日～2000年8月20日	(1) 農作物生産のために必要な栽培の知識と技術を学ぶ。 (2) 農作物生産のための環境制御の必要性を学び、優れた品質と安定した生産量を確保するために必要な技術と知識を学ぶ。 (3) 作物生産の基礎である作況調査の必要性を理解し、より良い状態で収穫するための技術を学ぶ。 (4) 作物の出荷と集荷の方法、システムを学ぶ。	(1) 栽培技術情報、農業協同組合、農業共済、農業機械、土地制度、共同事業（講義） (2) 農業改良普及所、農業協同組合、農業機械メーカー、農村福利厚生施設、農家（視察） (3) 討議：日本の農業と各国の農業の違いと発展

コース概要		コース概要	
コース名	受入期間	日 標	内 容
6 (一般特設) 畑作機械開発手法	2000年6月18日～2000年10月1日	(1) 畑作作業機械の原理、仕組みが理解でき、自国において農業機械の開発、改良、修理が可能となること (2) 畑作関連農業機械の自動化に要する基本的技術を習得し、自国における農業機械開発研究の一助となること (3) 帰国後に、農業機械開発研究にコンピュータ利用が可能となること	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 北海道・十勝農業の現状 (2) 農業機械と自動化 (3) 評価・試験、自動化の基礎技術 (4) マイコンの応用
7 (集団) 湿地環境及び生物多様性保全	2000年7月4日～2000年8月7日	(1) 自然資源調査の計画・実施、保護区域の設定、保護区域の保全・管理手法について、その基礎となる情報、技術等を習得する。 (2) ラムサール条約履行に必要な知識、技術等を習得する。	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 湿地生態系及び生物多様性保全の基本概念 (2) 湿地生態系及び生物多様性のモニタリング手法 (3) 湿地環境及び生物多様性の保全及び復旧方法 (4) 湿地のワイルズコース
8 (集団) 酪農振興・検査技術	2000年8月13日～2000年11月2日	(1) 酪農経営・政策・制度の概要の理解 (2) 乳牛の飼養管理基礎知識及び応用技術 (3) 乳牛の健康管理を図るため、各種疾病の原因・診断と対策 (4) 酪農産物(乳・肉)の処理、加工及び品質検査等の技術 (5) 最近の酪農関連技術を紹介し、その振興に資する。	講義・実習及び視察等により構成される。 必修項目の他に研修員の希望に応じて畜産食品の理化学的・衛生学的検査技術コースと家畜生産・管理技術コースを選択する。 (1) 酪農畜産概論 (2) 飼料の生産と評価 (3) 乳牛の飼養管理と繁殖 (4) 乳牛の疾病と衛生対策 (5) 牛舎と付帯施設の衛生管理 (6) 乳肉処理加工検査技術 (7) 関連技術等 (8) ファームステイ
9 (一般特設) 天然林経営と住民参加による地域林業	2000年8月20日～2000年11月7日	(1) 天然林の持続的経営に必要な施策方法の知識、技術を理解する。 (2) 住民参加型森林経営の手法・制度を紹介し、理解する。 (3) 地域特性を生かした森林経営の知識、技術を修得する。	(1) 森林行政 (2) 天然林経営技術と天然林施策を進める林道整備 (3) 森林組合の役割 (4) 住民参加の森林造成活動
10 (一般特設) 都市環境施設整備計画(地方中核都市)	2000年8月27日～2000年11月1日	以下の技術の修得を目標とする。 (1) 環境に配慮した都市施設の整備手法 (2) 都市環境施設整備事業に関する制度と組織 (3) 自国の都市環境施設整備のための計画立案に必要な知識	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 都市計画の概要 (2)-1 十勝、帯広の都市計画 (2)-2 十勝、帯広における都市環境施設整備事業 (3) 評価・展望

受入数 () 内は個別枠受入の研修員

コース概要		コース概要	
コース名	受入期間	目 標	内 容
11 小学校における理科実験教育 (一般特設) (南西アジア諸国)	2000年9月10日～2000年12月16日	<p>(1) 青少年科学館での理科の実験体験並びに各種行事やクラブ活動の視察を通して、体験的な教育のあり方を学ぶ。</p> <p>(2) 限られた実験器材を効果的に使い、自国内の小学校理科教育において適用可能な理科実験を実施できるような知識等を身につける。</p> <p>(3) 帯広市の小学校過程における理科教育の学校内教育(School Education)と学校外教育(Community Based Education)(青少年科学館)の活動や役割分担を理解することにより、理科教育の効果的な実施を自国に適用できるような力を身につける。</p>	<p>講義、実習及び視察により構成される。</p> <p>(1) 日本の教育概要</p> <p>(2) 小学校理科教育の概要</p> <p>(3) 児童のための科学活動施設における教育</p>
12 東欧農産物市場経済 (国別特設)	2000年9月18日～2000年11月4日	<p>(1) 日本の農業政策、食品産業の現状について理解する。</p> <p>(2) 市場経済の機構と農協の果たす役割について理解する。</p> <p>(3) 農畜産物の価格決定、流通システム、価格決定のメカニズムを理解する。</p> <p>(4) 農畜産物の衛生的、成分的品質管理の基礎的な手法について理解する。</p> <p>(5) 市場経済を効率的に運営するための仕組と行政の役割について理解する。</p>	<p>講義、発表、視察等により構成される。</p> <p>(1) 講義：日本の農業概要、市場経済の仕組と機能、市場機能とその役割、価格政策とその仕組、主要食料・食品(農産物)に関する需給動向と市場担当事者の役割、生鮮食料品の市場と行政の役割、市場経済を支える運送事業や情報システムの機能と運営、地方行政の役割</p> <p>(2) 発表：各国の現状報告会、参加者の特に興味を持ったテーマについての発表会</p> <p>(3) 視察：農業協同組合、農産物輸送の実務、畜産市場、食肉処理施設/加工センター</p>
13 上級原虫病研究 (一般特設)	2000年10月8日～2001年9月9日	<p>各原虫病の診断、治療、予防による原虫病罹患に関する高度な専門知識及び技術を修得し、自国における学術レベルと原虫病対策の向上を図る。</p>	<p>研修員の希望を考慮して次の5つの研究分野に配属し、各分野の指導教官の直接指導を行う。各分野では、それぞれ診断、治療、予防と宿主病態応答の先端研究技術の修得を指導教官との共同研究を通して広く行う。</p> <p>(1) トキソプラズマ感染の病態免疫生理学的研究</p> <p>(2) 住血原虫感染症疾患の研究</p> <p>(3) アフリカ・トリパノソーマ感染動物の病態免疫生理学的研究</p> <p>(4) 病原原虫の遺伝子工学的研究</p> <p>(5) 病原原虫感染機序に関する分子免疫発生学的研究</p> <p>研修員は各研究分野での研究討議に毎週参加し、週毎の研究結果発表を行い、研究センターにおける学術討論会、セミナー等にも参加し研修の成果をあげる。また、同研究センターの付属施設(病原原虫株保存室、人畜共通病原原虫感染動物特殊実験室)及び各種機器等を活用し、研修効果の向上に役立てる。</p>

コース概要

コース名	受入数	受入期間	目 標	内 容
14 (国別特設) コロンビア土地区画整理事業	7	2000年10月9日～2000年12月19日	(1) 日本の土地区画整理事業の概要(調査・事業計画、換地設計・土地評価、資金計画等)を理解する。 (2) 土地区画整理事業の作成が行えるようにする。 (3) 土地区画整理事業換地設計の作成が行えるようにする。 (4) 土地区画整理事業関連法規(土地区画整理法、税制)等の情報を収集する。 (5) 日本の土地区画整理事業実施担当者等と意見交換を行い、コロンビアに適した都市開発手法について検討する。	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 日本の土地区画整理事業の概要 (2) 土地区画整理事業計画の作成 (3) 土地区画整理事業換地設計の作成 (4) 土地区画整理事業関連法規 (5) 意見交換(コロンビアの開発事情、コロンビアの土地区画整理事業)
15 (一般特設) 女性指導者のための食物栄養改善	8	2000年10月29日～2001年1月27日	(1) 食物と栄養に関する基本的な知識を学ぶと同時にバランスのとれた栄養を得るための食物の選択方法を学ぶ。 (2) 年代別の栄養指導と献立作りを学ぶ。 (3) 臨床栄養に基づいた疾病別食事療法、調理指導について学ぶ。 (4) 集団給食を通して栄養管理、衛生管理のあり方、さらに公衆衛生食品衛生について修得する。	講義、調理等の実習等により構成される。 (1) 食文化・食糧統論 (2) 人体生理学・生化学・食品学 (3) 栄養学・栄養指導論・臨床栄養学・公衆栄養学 (4) 調理学・給食管理・食品衛生学・公衆衛生学・食品加工・貯蔵学
16 (一般特設) 農業分野における情報処理技術	8	2001年1月14日～2001年4月12日	(1) 農業分野における各種情報についてその調達(収集)、加工、処理法の概念、及びコンピュータによる情報処理を習得する。 (2) コンピュータネットワークの活用事例から農業情報ネットワークシステムの構築の仕方を理解する。 (3) コンピュータプログラムミングの概念を理解する。	講義、視察等により構成される。 (1) 農業情報の調達、加工、処理法 (2) コンピュータネットワークシステム概論 (3) プログラミング入門「表計算、ビジュアル・ベーシック等を用いたプログラミング」
17 (一般特設) 食肉及び食肉加工品の保蔵技術	5	2001年1月21日～2001年7月7日	(1) 食肉に関する構造的変化・栄養学的相違を理解する。 (2) 加工時における衛生レベル・添加物の種類を学ぶ。 (3) 加工・保蔵技術を修得する。 (4) 食肉加工品包装資材とその特徴を学ぶ。	講義、実習、視察により構成される。 (1) 家畜の屠殺方法と枝肉格付、屠殺後の筋肉の死後変化の生化学 (2) 家畜の疾病と食肉衛生及び飼料と肥育管理技術 (3) 食肉冷却冷蔵と凍結冷蔵 (4) 各種食肉加工品の加工技術 (5) 食品添加物の科学 (6) 食肉包装資材の科学
18 (国別特設) 中国市場経済下生産者・協同組合対応	9	2001年3月12日～2001年4月30日	(1) 農協事情の哲学とその価値を理解する。 (2) 農協の情報活動支援について理解する。 (3) 農協が行う経済事情の戦略と運営を理解する。	講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。 (1) 単位農協と地区農協連の役割分担 (2) 農産物と食品の価格形成 (3) 生産資材の流通と価格形成 (4) 営農情報の伝達と技術指導 (5) 中国の農産物市場と合作社の改革 (6) 農協の監査と経営指導等

コース概要	
コース名	受入期間
19 (国別特設) ザンビア農業普及	2001年3月25日～2001年5月13日
受入数	11
目 標	内 容
<p>(1) 農協普及システムの歴史と意義を理解する。</p> <p>(2) 農業機関が行う情報活動支援について理解する。</p> <p>(3) 農業普及のための個別の／ネットワーク的活動を理解する。</p>	<p>講義及び討論、実習並びに視察等により構成される。</p> <p>(1) 日本の農業普及制度の創成、発展、現状、課題</p> <p>(2) 農協の意義、活動、運営</p> <p>(3) 農業資機材及び農産品の価格形成</p> <p>(4) 農民グループの形成、活動、課題</p> <p>(5) 上記諸項目のザンビアにおける応用方法</p>

IV. 青年招へい事業

1. 青年招へい事業

青年招へい事業は、アセアンをはじめ、アジア、太平洋、アフリカ諸国などから、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に1カ月間招へいし、それぞれの専門分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族等との幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

2. 受入実績

年度	国名	分野	人数	実施協力団体	道内滞在期
昭和59年度	マレーシア	学生	20	北海道青少年団体連絡協議会	05.19-05.28
昭和60年度	タイ	学生 (科学技術系)	30	〃	05.25-06.03
昭和61年度	インドネシア	青年指導者	23	北海道世界青年友の会	07.19-07.28
〃	フィリピン	農村青年	20	北海道青年海外協力隊OB会	09.20-09.29
昭和62年度	シンガポール	青年指導者	23	北海道青少年団体連絡協議会	05.23-06.01
〃	ビルマ	青年指導者	10	北海道青年海外協力隊OB会	09.19-09.28
昭和63年度	シンガポール	青年指導者	22	北海道青少年団体連絡協議会	05.28-06.06
〃	タイ	青年指導者	23	北海道世界青年友の会	07.09-07.18
平成元年度	アセアン混成	学生	30	〃	06.20-06.29
〃	韓国	教育	20	北海道青少年団体連絡協議会	07.19-07.28
〃	インドネシア	青年指導者	15	北海道青年海外協力隊OB会	09.02-09.14
平成2年度	シンガポール	学生	15	北海道世界青年友の会	06.13-06.21
〃	韓国	青年指導者	17	(財)日本青年協会北海道支部	07.24-08.02
平成3年度	シンガポール	教員	20	(財)北海道YMCA	06.09-06.19
〃	パプア・ニューギニア	青年指導者	10	(財)日本ユースホステル協会室蘭ユースホステル	09.24-10.01
〃	インド	教員	30	北海道世界青年友の会	10.29-11.05
平成4年度	韓国	青年指導者	23	(財)北海道YMCA	07.21-07.30
〃	マレーシア	農村青年	20	北海道青年海外協力隊OB会	09.01-09.10
〃	パプア・ニューギニア	青年指導者	10	(財)日本ユースホステル協会室蘭ユースホステル	09.18-09.30
〃	パキスタン	教員	20	北海道ユネスコ連絡協議会	10.27-11.04
平成5年度	マレーシア	社会福祉	25	北海道青年海外協力隊OB会	09.01-09.09
〃	タイ	農村青年	25	(社)北海道国際農業交流協会	09.07-09.15
〃	太平洋混成	教員	12	北海道ユネスコ連絡協議会	09.21-09.29
〃	ブータン・モルディブ	教員・公務員	10	(財)北海道YMCA	10.26-11.02
平成6年度	韓国	教員	25	北海道青年海外協力隊OB会道東支部	07.18-07.26
〃	アセアン混成	環境保全	30	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	08.30-09.07
〃	アフリカ	経済開発関係公務員	14	(社)北海道子ども会育成連合会	10.11-10.19
〃	中国	産業基盤整備実務者	25	とまこまい国際交流センター	11.29-12.07
平成7年度	スリランカ	教員	10	(社)滝川市国際交流協会	07.11-07.19
〃	アセアン混成	環境保全	30	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	10.10-10.18
〃	ヴェトナム	公務員	25	とまこまい国際交流センター	10.31-11.08
〃	アセアン混成	教員	18	(財)札幌国際プラザ	11.07-11.16
〃	モンゴル	公務員	10	北海道青年海外協力隊OB会道東支部	01.30-02.07
平成8年度	インドネシア	社会開発	25	千歳国際交流協会	05.29-06.06
〃	フィリピン	社会開発	25	北海道青年海外協力隊OB会道東支部	05.29-06.06
〃	タイ	教育	22	(財)北海道YMCA	06.04-06.12

年度	国名	分野	人数	実施協力団体	道内滞在期
〃	ヴェトナム	公務員	25	とまこまい国際交流センター	06.18-06.26
〃	バブア・ニューギニア	公務員	10	(社)北海道子ども会育成連合会	07.10-07.18
〃	バングラデシュ	公務員	20	北海道青年海外協力隊OB会道東支部	09.11-09.19
〃	ミャンマー	教員	20	青年海外協力隊北海道OB会	09.24-10.02
〃	アセアン混成	環境保全	30	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	11.09-11.27
平成9年度	ヴェトナム	公務員	25	(財)北海道YMCA	06.17-06.25
〃	バブア・ニューギニア	教員	19	(社)帯広青年会議所	07.09-07.18
〃	韓国	勤労青年(事務職)	24	(社)滝川市国際交流協会	07.15-07.23
〃	ブルネイ	社会開発	15	千歳国際交流協会	09.23-10.01
〃	マレーシア	教育	25	とまこまい国際交流センター	10.01-10.09
〃	アセアン混成	教育	18	(財)札幌国際プラザ	11.04-11.12
〃	アセアン混成	環境保全	30	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	11.18-11.27
〃	中国	地域振興	25	十勝インターナショナル協会	12.02-12.11
平成10年度	マレーシア	教育	25	とまこまい国際交流センター	05.20-05.27
〃	シンガポール	経済B	18	千歳国際交流協会	06.03-06.10
〃	アセアン混成	環境保全	29	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	06.10-06.17
〃	アセアン混成	社会福祉	28	(財)札幌国際プラザ	06.03-06.20
〃	韓国	勤労青年(技術系)	25	(社)帯広青年会議所	07.15-07.22
〃	韓国	学生(理工系)	25	(社)滝川市国際交流協会	07.15-07.22
〃	中国	人材育成	24	十勝インターナショナル協会	07.29-08.05
〃	中央アジア混成	経済	25	(財)北海道YMCA	12.09-12.16
平成11年度	フィリピン	地域振興	20	千歳国際交流協会	07.07-07.14
〃	アセアン混成	社会福祉	24	(財)札幌国際プラザ	07.07-07.24
〃	アセアン混成	環境保全	24	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	07.14-08.10
〃	韓国	学生(人文・社会系)	25	(社)滝川市国際交流協会	07.21-07.28
〃	インド	教育(理数科教員)	30	十勝インターナショナル協会	10.22-12.08
〃	カンボディア	経済	30	とまこまい国際交流センター	11.17-11.24
〃	中央アジア混成	経済	25	(財)北海道YMCA	02.02-02.10
〃	アフリカ英語圏	理数科教員	23	青年海外協力隊OB会道東支部	02.16-02.24
平成12年度	タイ	中小企業経営	23	とまこまい国際交流センター	06.14-06.21
〃	カンボディア	農業(流通)	15	青年海外協力隊OB会道東支部	06.21-06.29
〃	アセアン混成	社会福祉 (児童青年福祉)	28	(財)札幌国際プラザ	06.28-07.13
〃	タイ	行政(中央行政)	23	(社)滝川市国際交流協会	07.26-08.03
〃	アセアン混成	環境保全 (自然環境保全)	28	釧路市海外青年招へい事業実行委員会	08.30-09.16
〃	インドネシア	地域振興	24	十勝インターナショナル協会	01.24-01.31
〃	中央アジア	経済	25	(財)北海道YMCA	02.01-02.08
	計	1584			

V. 日系研修員受入事業

1. 日系研修員受入

日系研修員受入は、中南米の日系人に対する技術移転を通じて、当該国の国造りに貢献することを主な目的としています。

2. 日系研修員受入実績（平成9年～）

年度	氏名	国名	研修内容	期間	研修先
平成9年度	Ms. Izumi TAIRA	ボリヴィア	集団・一般技術／保母・幼児教育	9.4.7～11.3.31	札幌幼児保育専門学校
〃	Ms. Mika YOSHINAGA	〃	〃	〃	〃
〃	Ms. Evani Fumi TANAKA	ブラジル	長期・一般技術 ／情報処理通信システム	9.4.7～9.8.11	帯広コンピューター 専門学校
〃	Ms. Dirce Kiyomi Hayashida MOCHIDA	ブラジル	個別・研究交流型 ／R4における幾何学的曲線	9.10.20～9.11.20	北海道大学理学部
平成10年度	Ms. Michi MORISHITA	ブラジル	集団・一般技術／保母・幼児教育	10.4.6～12.3.29	札幌幼児保育専門学校
〃	Ms. Chie UYAHARA	パラグアイ	〃	10.4.6～12.3.29	〃
〃	Mr. Massaru HASHIMOTO	ブラジル	個別・長期技術 ／獣医学（牛の繁殖技術）	10.9.21～11.9.17	北海道大学獣医学部
〃	Ms. Angelica Massumi ITO	〃	個別・長期技術／獣医学	〃	酪農学園大学獣医学部
〃	Ms. Karla Mika OTAKE	〃	個別・長期技術 ／獣医学（病理学）	〃	北海道大学獣医学部
平成11年度	Ms. Erika MURAI	ブラジル	集団・一般技術／保母・幼児教育	11.4.5～13.3.28	札幌幼児保育専門学校
〃	Mr. Hiromi YAMAGUCHI	〃	個別・短期技術（医学） ／内視超音波検査	11.10.24～11.12.23	旭川医科大学
平成12年度	Ms. Erika YABE	コロンビア	個別・長期技術／保母・幼児教育	12.4.3～13.4.11	谷内学園
〃	Mr. Kenyi Romeo ONITSUKA INOUE	パラグアイ	個別・長期技術・一般技術 ／流通・マーケティング	12.4.3～13.3.30	士幌町農業協同組合
〃	Mr. Pablo IGARASHI	アルゼン ティン	個別・短期・一般技術 ／サインボード	13.1.8～13.2.16	（株）六書堂

Ⅵ. 専門家派遣事業

1. 専門家派遣事業

当事業団では、途上国への技術協力の一環として日本国内の様々な業種の専門家をアジア、中近東、アフリカ、中南米等の途上国へと派遣しています。北海道からも多くの専門家が派遣されており、途上国への技術移転に寄与しています。本邦へ帰国した専門家は各地で連絡会を設立しており、帰国専門家、派遣予定の専門家のケアの他に地域への国際協力事業の浸透に一役買っています。

北海道においても「北海道JICA帰国専門家連絡会」が平成4年に設立され、平成12年度末現在で116名の会員を擁しています。

平成12年度北海道JICA帰国専門家活動実績

活 動 内 容
1. 道東地域会員との連絡協議会開催 帯広市および周辺に在住の帰国専門家26名を組織し、道東地域での活動の方向性について協議した。(5月31日)
2. アルゼンティン サケ・マス捕獲施設完成祝賀会 会員である長澤有晃氏が手がけたインディアン水車がアルゼンティンで完成したことに伴い、連絡会が祝賀会を企画。北海道新聞・事業団HPを通じ広報した。(6月15日)
3. 専門家セミナーの開催 北海道民に対する国際協力・専門家活動の啓発セミナーを行った。講師および演題は以下のとおり。(8月25日) 「最近の技術協力の考え方と地域に求められるもの」 (外務省技術協力課 夏目高男氏) 「技術協力を通して垣間見た中国」 (帰国専門家連絡会会員 松本勝氏)
4. 国際協力教育研修会への講師派遣 北海道立教育研究所が主催する道内小中高校の教師を対象とした国際理解研修講座に講師として会員2名を派遣した。(10月25日)
5. 北海道国際協力フェスタ'00への参加 ODAブースに連絡会コーナーを設け、専門家の活動パネル展示、資料配付、質疑の対応等を行った。(10月28-29日)

活 動 内 容

6. 研修員への支援

JICAセンターで年を越す研修員との交歓を目的として、研修員49名を招いた。会員（夫人含む）39名が参加。（12月15日）

7. 会報「想遠」の発行

第4号（12月20日）の発行。

8. 専門家帰国報告会

専門家総会に合わせ、最近帰国した専門家および夫人から、現地での業務および体験談の報告があった。講師および演題は以下のとおり。（3月19日）

「サモアでの生活」 （帰国専門家連絡会会員夫人 牧野睦子氏）

「モンゴル国とモンゴル鉄道」 （帰国専門家連絡会会員 藤村敬二氏）

2. 専門家派遣事業（帯広）

国民参加型専門家派遣事業

派遣先	案件名	派遣元	人数	派遣期間
中国(朝陽市)	朝陽市農業の 土壌改良による 土地生産性向上計画	帯広市	短期2名	1ヶ月間 (平成13年 2月7日 ～3月2日)
中国(朝陽市)	朝陽市農業の 土壌改良による 土地生産性向上計画	帯広市	長期1名	1年間 (平成13年 4月1日 ～3月31日)

Ⅶ. 地方自治体等連携事業

地域との連携を重視し、地方自治体等の国際協力・交流事業の担当職員及び研修員への指導等技術協力活動に携わっている職員を対象とした「地方自治体等国際協力実務者研修」の募集を実施しています。また、地方自治体等に対する J I C A 事業の説明など様々なプログラムの開催を通じて、地方自治体との連携事業を推進しています。

1. 地方自治体職員等国際協力実務者研修（東京実施分）

(札幌所管分)

(1)第1回

1) 受講者氏名(所属先)

中辻 清矩(北海道国際センター 札幌)

パレスチナ地方自治体行政コース研修指導者

2) 受講期間

平成12年6月26日(月)～平成12年6月30日(金)

(2)第2回

1) 受講者氏名(所属先)

佐治 朋子(社団法人北方圏センター)

原田 瑞絵(社団法人滝川国際交流協会)

久米 由布子(北海道根室支庁)

2) 受講期間

平成12年9月25日(月)～平成12年9月29日(金)

(3)第3回

1) 受講者氏名(所属先)

①山内 康裕(社団法人滝川国際交流協会)

②森畑 真吾(社団法人北方圏センター)

③丸山 浩一(札幌市下水道局施設部)

④太田 裕子(札幌市保健所食品指導課)

2) 受講期間

①平成12年12月11日(月)～平成12年12月15日(金)

②平成12年12月11日(月)～平成12年12月15日(金)

③平成12年11月20日(月)～平成12年12月15日(金)

④平成12年12月11日(月)～平成12年12月15日(金)

(4)第4回

1) 受講者氏名(所属先)

①佐々木 徹也(札幌市保健所食品指導課市場検査係)

②高橋 政章(札幌市水道局総務部総務課)

③谷口 雅絵(札幌市環境局環境計画部環境活動推進課)

④染矢 洋(札幌市下水道局建設部計画課)

2) 受講期間

- ①平成13年3月5日(月)～平成13年3月9日(金)
- ②平成13年2月13日(火)～平成13年3月9日(金)
- ③平成13年2月13日(火)～平成13年3月9日(金)
- ④平成13年2月13日(火)～平成13年3月9日(金)

2. 地方自治体職員等国際協力実務者研修（東京／大阪実施分）

（帯広所管分）

(1)第1回

1) 受講期間

平成12年6月26日～6月30日

2) 受講者氏名（所属先）

米倉 進（帯広市農務部農林課）

(2)第2回

1) 受講期間

平成12年9月4日～9月29日

2) 受講者氏名（所属先）

山中 雅裕（釧路公立大学事務組合）

(3)第3回

1) 受講期間

平成12年12月11日～12月15日

2) 受講者氏名（所属先）

平沼 裕（帯広市十勝環境複合事務組合）

(4)第4回

1) 受講期間

平成13年2月13日～3月9日

2) 受講者氏名（所属先）

小笠 佳奈子（帯広市企画部国際交流課）

3. 地方自治体職員等国際協力実務者研修（地方実施分）

(1)開催年月日

平成12年2月23日～24日

(2)開催場所

北海道国際センター（帯広）

(3)テーマ

十勝から発信する国際協力セミナー

(4)講師氏名

1) 基調講演：地方自治体の国際協力

鈴木 佑司氏（法政大学法学部教授）

2) 報告：国民の目から見た我が国の国際協力

矢萩 久美子氏（平成12年度ODA民間モニター）

3) JICAの地域連携事業の概要

西山 甲子男課長 (JICA北海道国際センター (帯広))

4) 事例紹介：国民参加型国際協力の現状

①池田町における地方枠研修の実施

／君島 利彦氏・高島 裕司氏 (池田町企画振興課)

②十勝でのJICA事業について

／三浦 弘之氏 (北見市企画課)

③帯広市－朝陽市間協力の現況について

／五ノ井 博氏 (帯広市国際交流課長)

④小規模開発パートナー事業への参画について

／浅山 美保氏 (イリマニの会)

5) プロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM) 研修

／アイ・シー・ネット株式会社

4. 地方枠研修

国	研修科目	主な受入先	受入期間	人数
ボリヴィア、コロンビア、ペルー	ワインによる地方自治体の地域経済振興	池田町	2000.9.3～2000.10.17	3
インドネシア、マレーシア、タイ	自然公園の管理・運営と利用 (エコツアー)	釧路国際ウェットランドセンター	2000.9.10～2000.10.15	3
ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス	寒冷地の社会基盤工学	北見市、北見工業大学	2000.10.10～2000.11.24	3
中国	朝陽市農業開発	帯広市	2000.3.4～2000.4.1	2

Ⅷ. 青年海外協力隊事業

1. 青年海外協力隊

(1) 青年海外協力隊とは

青年海外協力隊事業は日本の青年が自分の技術・知識・経験を生かして相手国の国づくりを支援するボランティア事業です。昭和40年の発足以来、69か国の開発途上国へ、20,000名を越える青年を隊員として派遣してきました。現在も約2,500名の隊員が世界62か国で活躍しています。

(2) 北海道出身隊員概況（平成13年3月31日現在）

① 派遣中の隊員数 133名（うち女性 65名）

派遣国 54ヶ国

② 派遣隊員累計数 1114名（うち女性 408名）

	派遣中	11年度累計	12年度派遣	12年度累計
アジア	35 名	343 名	17 名	360 名
アフリカ	36 名	323 名	17 名	340 名
中近東	6 名	73 名	4 名	77 名
大洋州	9 名	94 名	3 名	97 名
中南米	38 名	198 名	23 名	221 名
ヨーロッパ	9 名	16 名	3 名	19 名
計	133 名	1047 名	67 名	1114 名

（一般隊員の他、シニア隊員、調整員などを含む）

(3) 募集活動経緯

	春	秋	計
説明会開催数*1	22 回	21 回	43 回
説明会参集者数*1	659 名	693 名	1,352 名
願書提出者数	159 名	267 名	426 名
一次選考受験者数	116 名	194 名	310 名
一次選考合格者数	61 名	104 名	165 名
二次選考受験者数	55 名	97 名	152 名
二次選考合格者数	20 名	49 名	69 名

（*1には特別説明会を含む）

・春募集一次選考 6月11日(日)実施
 (札幌：天使大学、帯広：北海道国際センター(帯広)、旭川：藤田観光ワシントンホテル旭川、函館：サンリフレ函館、釧路：釧路市生涯学習センター、北見：ビッツアークホテル)

・秋募集一次選考 12月10日(日)実施
 (札幌：ホテルユニオン、帯広：北海道国際センター(帯広)、旭川：フィットネスホテル330旭川、函館：サンリフレ函館、釧路：釧路市生涯学習センター、北見：ビッツアークホテル)

(4) 募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	日・月	会場	住所	参加者
帯広(1)	4月10日(月)	JICA北海道国際センター(帯広)	帯広市西20条南6丁目1-2	17名
紋別	4月14日(金)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	4名
網走	4月15日(土)	網走ホテルサンパーク	網走市南2条西3丁目7	10名
札幌(1)	4月16日(日)	JICA北海道国際センター(札幌)	札幌市白石区本通16丁目4-25	70名
北見	4月16日(日)	オホーツク木のプラザ	北見市泉町1丁目3-18	12名
小樽	4月19日(水)	小樽グランドホテル	小樽市稲穂1丁目4番地1号	5名
釧路	4月21日(金)	釧路市観光国際交流センター	釧路市幸町3-3	17名
根室	4月22日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	6名
札幌(2)	4月23日(日)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	91名
中標津	4月23日(日)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2条南3丁目	6名
岩見沢	4月25日(火)	岩見沢コミュニティプラザ	岩見沢市有明町南1-20	25名
滝川	4月26日(水)	滝川市総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	3名
旭川	4月27日(木)	藤田観光ワシントンホテル旭川	旭川市宮下通7丁目	40名
帯広(2)	4月29日(金)	とかちプラザ	帯広市西4条南13丁目	33名
札幌(3)	5月8日(月)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	88名
苫小牧	5月9日(火)	苫小牧市民会館	苫小牧市旭町3丁目2-2	26名
室蘭	5月10日(水)	国際コミュニティセンター	室蘭市寿町1丁目10-11	25名
函館	5月11日(木)	函館ハーバービューホテル	函館市若松町14-10	36名
富良野	5月12日(金)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	16名
札幌(4)	5月13日(土)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	110名

② 春募集特別説明会

酪農学園大学（江別市） 4月21日（金） 〈参集者 18名〉
 帯広畜産大学（帯広市） 5月11日（木） 〈参集者 1名〉

③ 秋募集説明会会場

開催地	日・月	会場	住所	参集者
根室	10月21日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	1名
札幌(1)	10月22日(日)	北海道国際センター (札幌)	札幌市白石区本通16丁目南4-25	47名
釧路	10月22日(日)	釧路市観光国際交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	29名
中標津	10月23日(月)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2南3-1-1	3名
帯広(1)	10月25日(水)	とがちプラザ	帯広市西4条南13丁目	30名
小樽	10月25日(水)	ヒルトン小樽	小樽市築港11番3号	20名
紋別	10月27日(金)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	2名
北見	10月28日(土)	北見ビッツアークホテル	北見市北2条東4丁目	16名
札幌(2)	10月29日(日)	札幌ファクトリーホール	札幌市中央区北2条東3丁目	94名
網走	10月29日(日)	網走ホテルサンパーク	網走市南2条西3丁目-7	14名
苫小牧	10月31日(火)	苫小牧市民会館	苫小牧市旭町3丁目2-2	21名
富良野	11月1日(水)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	16名
室蘭	11月1日(水)	国際コミュニティーセンター	室蘭市寿町1-10-11	16名
函館	11月2日(木)	ホテルロイヤル柏木	函館市柏木町1-36	32名
札幌(3)	11月6日(月)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	115名
岩見沢	11月7日(火)	岩見沢コミュニティープラザ	岩見沢市有明町南1番地20	20名
滝川	11月8日(水)	滝川総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	6名
旭川	11月9日(木)	藤田ワシントンホテル旭川	旭川市宮下通7丁目	56名
帯広(2)	11月11日(土)	とがちプラザ	帯広市西4条南13丁目	34名
札幌(4)	11月12日(日)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	118名

④ 秋募集特別説明会

酪農学園大学（江別市） 10月27日(金) 〈参集者 18名〉

(5) 協力隊関連行事（平成12年度）

① 北海道OB会OB総会：平成13年4月7日(土)16：30～
 〈於：北海道国際センター（札幌） 54名〉

② 派遣隊員壮行会

・一次隊 20名 平成12年7月6日(木)

氏名	派遣国	職種
那須 勝	インドネシア	野菜
石岡 希	インドネシア	看護婦
木曾 敦子	インドネシア	日本語教師
千葉 美有貴	ネパール	看護婦
大石 瑞紀	フィリピン	理数科教師
菅野 秀樹	タイ	システムエンジニア
古主 正信	ガーナ	理数科教師
菱沼 大輔	ガーナ	理数科教師
清宮 芳美	コートジボアール	婦人子供服
海老名 将安	ニジェール	工作機械
江蔵 弘文	タンザニア	理数科教師
菅原 美和	ボリヴィア	バレーボール
米沢 あずさ	エクアドル	小学校教諭
上野 晃夫	ヴァテマラ	組織培養
曾根田 敏彦	ヴァテマラ	ソーシャルワーカー
石川 卓哉	ジャマイカ	養護
渡辺 敬子	メキシコ	言語聴覚士
松久 大樹	パナマ	村落開発普及員
盛内 亜矢子	セント・ルシア	養護
菊地 多美絵	ポーランド	日本語教師

・二次隊 17名 平成12年11月28日(水)

氏名	派遣国	職種
菅野 未世	カンボディア	日本語教師
長崎 雅裕	ネパール	理数科教師
片山 真希	ネパール	助産婦
寺田 正子	ネパール	助産婦
千葉 真寿美	パキスタン	家政
鈴木 洋	ボツワナ	製版
小竹 一嘉	セネガル	村落開発普及員
高松 宣公	タンザニア	システムエンジニア
天野 進也	ジンバブエ	野球

松谷 都生	ジンバブエ	青少年活動
和川 卓也	ベリーズ	食品加工
土屋 英路	ボリヴィア	獣医師
木滑 麻未	コスタ・リカ	日本語教師
松井 里美	ドミニカ共和国	幼稚園教諭
宮下 愛	ドミニカ共和国	理数科教師
澁田 千晴	ヴァテマラ	家畜飼育
星 葉子	ブルガリア	養護

・三次隊 8名 平成13年3月26日(月)

氏名	派遣国	職種
飯沼 邦貴	ジョルダン	生態調査
廣部 奈穂	ジブティ	婦人子供服
野田 枝里	ニジェール	家政
高畑 康範	ジンバブエ	システムエンジニア
山本 泰雄	ボリヴィア	水質検査
中島 貴之	ホンデュラス	村落開発普及員
上田 貴子	トンガ	視聴覚教育
守屋 志保	ルーマニア	野菜

2. シニア海外ボランティア

(1) シニア海外ボランティアとは

シニア海外ボランティア派遣制度は、国内で幅広い技術と豊かな経験を有する中高年の方でボランティア精神に基づき、途上国のために貢献したいという人々の強い希望と、近年増えつつある途上国からの技術援助の要請に応えることを目的に設定された支援事業です。

(2) 北海道からの派遣実績

選考年度	派遣人数
平成4年	2名
平成5年	1名
平成6年	3名
平成7年	2名
平成8年	3名
平成9年	2名
平成10年	3名
平成11年	5名
平成12年	14名
計	35名

* 平成12年度春募集から一般公募制
* となる。

(3)募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	日・月	会場	住所	参集者
帯広(1)	4月10日(月)	北海道国際センター(帯広)	帯広市西20条南6丁目1-2	3名
紋別	4月14日(日)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	1名
網走	4月15日(土)	網走ホテルサンパーク	網走市南2西3-7	1名
札幌(1)	4月16日(日)	JICA北海道国際センター(札幌)	札幌市白石区本通16丁目4-25	31名
北見	4月16日(日)	オホーツク木のプラザ	北見市泉町1丁目3-18	6名
釧路	4月21日(金)	釧路市観光国際交流センター	釧路市幸町3-3	3名
根室	4月22日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	1名
札幌(2)	4月23日(日)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	56名
中標津	4月23日(日)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2条南3丁目	0名
旭川	4月27日(木)	藤田観光ワシントンホテル旭川	旭川市宮下通7丁目	9名
帯広(2)	4月29日(金)	とちちプラザ	帯広市西4条南13丁目	9名
函館	5月11日(木)	ホテルロイヤル柏木	函館市柏木町1-36	36名
富良野	5月12日(金)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	0名
札幌(3)	5月13日(土)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	49名

② 秋募集説明会会場

開催地	日・月	会場	住所	参集者
根室	10月21日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	2名
札幌(1)	10月22日(日)	北海道国際センター(札幌)	札幌市白石区本通16丁目南4-25	25名
釧路	10月22日(日)	釧路市観光国際交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	2名
中標津	10月23日(月)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2南3-1-1	0名
帯広(1)	10月25日(水)	とちちプラザ	帯広市西4条南13丁目	12名
紋別	10月27日(金)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	1名
北見	10月28日(土)	北見ビッツアークホテル	北見市北2条東4丁目	12名
札幌(2)	10月29日(日)	札幌ファクトリーホール	札幌市中央区北2条東3丁目	31名
網走	10月29日(日)	網走ホテルサンパーク	網走市南2条西3丁目-7	2名
富良野	11月1日(水)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	1名
函館	11月2日(木)	ホテルロイヤル柏木	函館市柏木町1-36	14名
札幌(3)	11月6日(月)	アスティ45ビル	札幌市中央区北4条西5丁目	名
旭川	11月9日(木)	藤田ワシントンホテル旭川	旭川市宮下通7丁目	6名
帯広(2)	11月11日(土)	とちちプラザ	帯広市西4条南13丁目	20名

③ 派遣者

隊次	氏名	派遣国	職種
12-前期	早川 禎治	ネパール	花卉栽培
12-前期	橋本 好弘	ラオス	英語教師
12-前期	青木 嘉久	ラオス	英語教師
12-前期	石原 亨	ジョルダン	視聴覚メディア
12-前期	菊地 正彦	メキシコ	行政一般
12-前期	熊野 秀男	ジョルダン	情報・広報
12-前期	村田 韶子	メキシコ	日本語教師
12-前期	東條 邦男	ウルグアイ	自動車整備
12-後期	佐々木義修	ブータン	環境保全
12-後期	伊藤 茂生	インドネシア	農業技術
12-後期	泉 滋	マレーシア	水産
12-後期	信田 正幸	タイ	そろばん
12-後期	牧野 徹	ドミニカ共和国	農業指導
12-後期	石田 省子	ウルグアイ	日本語教師

3. 平成12年度 青年海外協力隊事業（帯広）

(1)平成12年度派遣隊員

隊次	氏名	派遣国	職種
1次隊	松久 大樹	パナマ	村落開発普及員
1次隊	海老名 将安	ニジェール	工作機械
1次隊	古主 正信	ガーナ	理数科教師
1次隊	盛内 亜矢子	セント・ルシア	養護
2次隊	小竹 一嘉	セネガル	村落開発普及員
2次隊	松谷 都生	ジンバブエ	青少年活動
3次隊	野田 枝里	ニジェール	家政
3次隊	飯沼 邦貴	ジョルダン	生態調査

(2)募集説明会・選考

	春	秋	計
説明会開催数	9	9	18
説明会参加者数	121	145	266

・春募集一次選考 6月11日(日)

帯広：北海道国際センター（帯広）

北見：北見ピッツアークホテル

釧路：釧路市生涯学習センター

・秋募集一次選考 12月10日(日)

帯広：北海道国際センター（帯広）

北見：北見ピッツアークホテル

釧路：釧路市生涯学習センター

(3)募集説明会実績

① 春募集説明会日程

開催地	月・日	会場	住所	参集者数
帯 広	4月10日(月)	北海道国際センター (帯広)	帯広市西20条南6丁目1-2	17名
紋 別	4月14日(金)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	4名
網 走	4月15日(土)	網走ホテルサンパーク	網走市南2西3-7	10名
北 見	4月16日(日)	オホーツク木のプラザ	北見市泉町1丁目3-18	12名
釧 路	4月21日(金)	釧路市観光国際交流センター	釧路市幸町3-3	17名
根 室	4月22日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	6名
中標津	4月23日(日)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2南3-1-1	6名
帯 広	4月29日(土)	とかちプラザ	帯広市西4条南13丁目	33名
富良野	5月12日(金)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	16名

② 春募集特別説明会：5月11日(木)帯広畜産大学 1名

③ 秋募集説明会日程

開催地	月・日	会場	住所	参集者数
根 室	10月21日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	1名
釧 路	10月22日(日)	釧路市観光国際交流センター	釧路市幸町3-3	29名
中標津	10月23日(月)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2南3-1-1	3名
帯 広	10月25日(水)	とかちプラザ	帯広市西4条南13丁目	30名
紋 別	10月27日(金)	紋別市オホーツク交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	2名
北 見	10月28日(土)	北見ビッツアークホテル	北見市北2条東4丁目	16名
網 走	10月29日(日)	網走ホテルサンパーク	網走市南2西3-7	14名
富良野	11月1日(水)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	16名
帯 広	11月11日(土)	とかちプラザ	帯広市西4条南13丁目	34名

IX. 日系社会支援事業

1. 日系社会青年ボランティア

(1) 日系社会ボランティアとは？

現在、海外には北、中南米の国々を中心に、250万人以上もの日系人が生活しています。彼らは日本と異なる風土や社会の中で自らの生活水準を引き上げるとともに周辺地域の発展にも著しく寄与しました。

日系社会青年ボランティアはそのような中南米地域の日系社会の一層の発展を支援するために優秀な技術とボランティア精神を持った日本の青年を同地域の日系団体に派遣する制度です。

(2) 派遣実績

実施回	年度	派遣数
1～6	～平成2年度	8名
7	平成3年度	0名
8	平成4年度	4名
9	平成5年度	2名
10	平成6年度	1名
11	平成7年度	2名
12	平成8年度	5名
13	平成9年度	7名
14	平成10年度	4名
15	平成11年度	5名
16	平成12年度	1名
計		39名

① 募集説明会日程

開催地	日・月	会場	住所	参集者
帯広(1)	4月10日(月)	JICA北海道 国際センター(帯広)	帯広市西20条南6丁目1-2	17名
紋別	4月14日(金)	紋別市オホーツク 交流センター	紋別市幸町5丁目24-1	4名
網走	4月15日(土)	網走ホテルサンパーク	網走市南2条西3丁目7	10名
札幌(1)	4月16日(日)	JICA北海道 国際センター(札幌)	札幌市白石区本通16丁目4-25	70名
北見	4月16日(日)	オホーツク木のプラザ	北見市泉町1丁目3-18	12名
小樽	4月19日(水)	小樽グランドホテル	小樽市稲穂1丁目4番地1号	5名
釧路	4月21日(金)	釧路市観光 国際交流センター	釧路市幸町3-3	17名
根室	4月22日(土)	根室市総合文化会館	根室市曙町1-40	6名
札幌(2)	4月23日(日)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	91名

中標津	4月23日(日)	中標津町総合文化会館	標津郡中標津町東2条南3丁目	6名
岩見沢	4月25日(火)	岩見沢コミュニティプラザ	岩見沢市有明町南1-20	25名
滝川	4月26日(水)	滝川市総合福祉センター	滝川市明神町1-5-29	3名
旭川	4月27日(木)	藤田観光 ワシントンホテル旭川	旭川市宮下通7丁目	40名
帯広(2)	4月29日(金)	とかちプラザ	帯広市西4条南13丁目	33名
札幌(3)	5月8日(月)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	88名
苫小牧	5月9日(火)	苫小牧市民会館	苫小牧市旭町3丁目2-2	26名
室蘭	5月10日(水)	国際コミュニティ センター	室蘭市寿町1丁目10-11	25名
函館	5月11日(木)	函館ハーバービュー ホテル	函館市若松町14-10	36名
富良野	5月12日(金)	富良野市文化会館	富良野市弥生町1-2	16名
札幌(4)	5月13日(土)	プラニスホール	札幌市中央区北5条西2丁目	110名

② 特別説明会

酪農学園大学（江別市） 4月21日（金） 〈参集者 18名〉

帯広畜産大学（帯広市） 5月11日（木） 〈参集者 1名〉

*但し青年海外協力隊春募集と同時開催

(3) 試験結果

	全国	北海道取扱分
願書提出者	4 4 3	2 0
一次選考受験者数	3 8 3	1 8
一次選考合格者数	1 5 1	6
二次選考合格者数	5 6	2

(4) 第16回生（平成12年度）北海道在住合格者

寺本 和佳（臨床検査技師）ポリヴィア、サン・ファン日ボ協会

2. 日系社会シニアボランティア

(1) 日系社会シニアボランティアとは

中南米の開発途上地域における日系社会を対象に、日系人がその国造りのために大きな力になっていることを踏まえ、その一層の発展を支援するために、幅広い技術と豊かな経験を有し、ボランティア精神に満ち溢れた日本の中高年（40歳から69歳まで）を派遣する制度です。

(2) 派遣実績

選考年度	派遣年度	派遣人数
平成3年度	平成4年度	7名
平成4年度	平成5年度	6名
平成5年度	平成6年度	3名
平成6年度	平成7年度	5名
平成7年度	平成8年度	6名
平成8年度	平成9年度	2名
平成9年度	平成10年度	4名
平成10年度	平成11年度	4名
平成11年度	平成12年度	3名
平成12年度	平成13年度	1名
計		41名

(3) 募集説明会

8月31日 アスティ45ビル

(4) 試験結果

	全国	北海道
願書提出者数	163	10
一次選考合格者数	58	4
二次選考合格者数	27	1

(5) 北海道在住合格者

太田 多恵子 (福祉) ブラジル、 希望の家福祉協会

JICA